

2026 年度

# シラバス

〔授業計画書〕

第 1 学年

松本歯科大学衛生学院

歯科衛生士学科



## <目 次>

建学の理念	1
校 歌	2
教育目標等	3
履修基準表	4
年間予定表	5
時間割表	7
口腔生命科学入門Ⅰ	【前】・・・・9
口腔生命科学入門Ⅱ	【前】・・・・10
医療コミュニケーション	【後】・・・・11
言語表現	【後】・・・・12
身体と健康	【前後】・・・・13
解剖学・組織発生学	【前】・・・・15
生理学	【前】・・・・17
生化学・口腔生化学	【前】・・・・18
口腔解剖・口腔組織発生学	【前】・・・・19
口腔生理学	【前】・・・・21
栄養学	【後】・・・・22
病理学・口腔病理学	【後】・・・・23
薬理学・歯科薬理学	【後】・・・・25
微生物学・口腔微生物学	【後】・・・・27
口腔衛生学Ⅰ	【前】・・・・29
口腔衛生学Ⅱ	【後】・・・・30
衛生学・公衆衛生学	【後】・・・・31
歯科衛生士概論	【前】・・・・32
歯科予防処置論Ⅰ	【前】・・・・33
歯科予防処置論Ⅱ	【後】・・・・35
歯科保健指導論Ⅰ	【前】・・・・38
歯科保健指導論Ⅱ	【後】・・・・40
歯科診療補助論Ⅰ	【前】・・・・42
歯科診療補助論Ⅱ	【後】・・・・45
歯科英語	【前】・・・・48

# 建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる


創立者

矢崎 泰

松本歯科大学校歌  
あゝ渺々の蒼穹に

作詞 矢ヶ崎 康  
作曲 山本 直純

Tempo di Marcia



あ あ びょうびょうの そ う きゅう に いまぞあけゆーく しなののあしたはく  
あ あ しんおうの けいこくに いまぞひらけーん くさののかおりなら  
あ あ けんれいの べにそえて いまぞそめゆーく ききょりゆうべみそ



せ つほゆる けだかきみねに りせいのみみを すましきけよく  
い のかわの いざようきしに りせいのまどを ひひを しづめきけあ  
ら にはゆる みいろのほしに りせいのむねを しづめきけあ



あ けのうたと こくしゅうのうたを じゆうのーひびき いやかんきあり  
だ けめいもー さやけきしこう じゆうのーまもり わがしろにあり } いざ  
ゆ みのおととー きしみのおとを じゆうのーさかえ いやかがやけり



や さぐらん せかいのありかを いざや きわめん むげんのおきてを

- 一、あゝ渺々の蒼穹に  
いまぞ明け行く 信濃の朝  
白雪吼ゆる 気高き霊峯に  
理性の耳を 澄まし聞け  
夜明けの歌と 国手の歌を  
自由の響き いや歓喜あり  
いざや探らん 世界のありかを  
いざや究めん 無限の法則を
- 二、あゝ深奥の溪谷に  
いまぞ開けん 草野の香り  
奈良井の川の いざよう岸に  
理性の窓を 開き見よ  
碎け迷蒙 さやけき思考  
自由の守り わが城にあり  
いざや探らん 世界のありかを  
いざや究めん 無限の法則を
- 三、あゝ妍麗の紅添えて  
いまぞ染め行く 桔梗ヶ原の夕べ  
深空に映ゆる 三色の星に  
理性の胸を 静め聞け  
歩みの音と 進化の音を  
自由の栄光 いや輝けり  
いざや探らん 世界のありかを  
いざや究めん 無限の法則を

## 松本歯科大学衛生学院

### ◇設置目的（松本歯科大学衛生学院学則 第1条）

松本歯科大学衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。

### ◇教育目標

本学院は、温かく豊かな人間性と幅広い教養を備え、口腔保健の専門的知識と技術を持って広く人々の健康と幸福に貢献するとともに、地域や国際社会の保健・医療・福祉・健康の課題に柔軟に対応できる感性豊かで創造力をもった総合的な口腔保健の専門医療人を養成することを目指すものである。

### ◇ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）

1. 歯科衛生士として豊かな人間性と専門性を身につけ、社会に貢献できる
2. 歯科衛生士に必要な専門知識と技術を備え、口腔の健康を支援することができる
3. 歯科衛生士としてのコミュニケーション能力を有し、多職種との協働ができる
4. 歯科医療の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、自ら問題解決できる探求心を備えている

### ◇アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 歯科衛生士として人々の健康と幸福に寄与したいという目的意識をもっていること
2. 医療人にふさわしい温かい人間性を備えていること
3. 豊かな感性と学問への情熱を有していること
4. 専門家としての知識と技術を学ぶために必要な基礎力を身につけていること

《2026年度入学生》教育内容、授業内容、授業科目及び単位数等(履修基準表)

分野	教育内容	授業科目	授業	履修	単位数	時間数	履修年次及び授業時間数		
			形態	区分			1年	2年	3年
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活	口腔生命科学入門Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔生命科学入門Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		医療コミュニケーション	演習	必修	2	30	30		
		言語表現	講義	必修	2	30	30		
		身体と健康	実技	必修	2	60	60		
小計					10	180	180	0	0
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	解剖学・組織発生学	講義	必修	2	30	30		
		生理学	講義	必修	1	16	16		
		生化学・口腔生化学	講義	必修	1	16	16		
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖・口腔組織発生学	講義	必修	3	46	46		
		口腔生理学	講義	必修	1	16	16		
		栄養学	講義	必修	1	16	16		
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学・口腔病理学	講義	必修	2	30	30		
		薬理学・歯科薬理学	講義	必修	2	30	30		
		微生物学・口腔微生物学	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔衛生学Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		衛生学・公衆衛生学	講義	必修	2	30	30		
		衛生行政・社会福祉	講義	必修	1	16		16	
小計					22	336	320	16	0
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	講義	必修	2	30	30		
	臨床歯科医学	保存修復学	講義	必修	1	18		18	
		歯内療法学	講義	必修	1	18		18	
		歯周療法学	講義	必修	1	18		18	
		歯科補綴学	講義	必修	1	24		24	
		口腔外科学	講義	必修	1	18		18	
		小児歯科学	講義	必修	1	18		18	
		歯科矯正学	講義	必修	1	18		18	
		歯科放射線学	講義	必修	0.5	10		10	
		歯科麻酔学	講義	必修	0.5	8		8	
		障害者歯科学・高齢者歯科学	講義	必修	2	32		32	
		摂食・嚥下学	演習	必修	1	18		18	
	歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	演習	必修	2	48	48		
		歯科予防処置論Ⅱ	演習	必修	2	48	48		
		歯科予防処置論Ⅲ	演習	必修	2	48		48	
		歯科予防処置論Ⅳ	演習	必修	1	24		24	
		歯科予防処置論Ⅴ	演習	必修	1	24			24
	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	演習	必修	1	24	24		
		歯科保健指導論Ⅱ	演習	必修	1	24	24		
		歯科保健指導論Ⅲ	演習	必修	2	48		48	
		歯科保健指導論Ⅳ	演習	必修	1	24		24	
		歯科保健指導論Ⅴ	演習	必修	1	24			24
		歯科保健指導論Ⅵ	演習	必修	1	24			24
	歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	演習	必修	2	48	48		
		歯科診療補助論Ⅱ	演習	必修	2	48	48		
		歯科診療補助論Ⅲ	演習	必修	2	48		48	
		歯科診療補助論Ⅳ	演習	必修	1	24		24	
		歯科診療補助論Ⅴ	演習	必修	1	24			24
		歯科診療補助論Ⅵ	演習	必修	1	24			24
	臨地実習(臨床実習を含む)	臨地実習Ⅰ	実習	必修	10	450		450	
		臨地実習Ⅱ	実習	必修	10	450			450
	歯科衛生士特論	歯科衛生士特論	講義	必修	8	240			240
	小計					65	1946	270	866
選択必修分野	医療事務(歯科)	講義	必修	4	70		70		
	歯科英語	講義	必修	2	30	30			
	医療中国語	講義	必修	2	30		30		
小計					8	130	30	100	0
合計					105	2592	800	982	810

2026年度 年間予定表 (前期)

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	水	1	金 2・3年:特別休業	1	月	1	水	1	土 1・2・3年:夏季休業	1	火 2年:前期追・再試験・補習
2	木	2	土	2	火	2	木 ・HBワクチン接種 (2回目)	2	日 1・2・3年:夏季休業	2	水 2年:前期追・再試験・補習
3	金	3	日 憲法記念日	3	水	3	金	3	月 1・2・3年:夏季休業	3	木 1年:特別休業 2年:前期追・再試験・補習
4	土	4	月 みどりの日	4	木	4	土	4	火 1・2・3年:夏季休業	4	金 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
5	日	5	火 こどもの日	5	金	5	日	5	水 1・2・3年:夏季休業	5	土 体験入学④
6	月	6	水 振替休日	6	土	6	月	6	木 1・2・3年:夏季休業	6	日
7	火	7	木	7	日	7	火	7	金 1・2・3年:夏季休業	7	月 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
8	水	8	金	8	月	8	水	8	土 1・2・3年:夏季休業	8	火 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
9	木 入学式	9	土	9	火	9	木	9	日 1・2・3年:夏季休業	9	水 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
10	金 1・2・3年:オリエンテーション	10	日	10	水	10	金	10	月 1・2・3年:夏季休業	10	木 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
11	土	11	月	11	木	11	土	11	火 山の日 1・2・3年:夏季休業	11	金 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
12	日	12	火	12	金	12	日	12	水 1・2・3年:夏季休業	12	土
13	月 1年:オリエンテーション 2年:授業開始 3年:オリエンテーション(臨地Ⅱ)	13	水	13	土 体験入学②	13	月	13	木 1・2・3年:夏季休業	13	日
14	火 1年:オリエンテーション	14	木 1年:HBs抗原・抗体検査 (採血)	14	日	14	火 2年:前期定期試験Ⅱ	14	金 1・2・3年:夏季休業	14	月 1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験・補習
15	水 1年:授業開始	15	金	15	月 2年:前期定期試験Ⅰ	15	水 2年:前期定期試験Ⅱ	15	土 1・2・3年:夏季休業	15	火 1年:前期定期試験 2年:登院試験
16	木	16	土	16	火 2年:前期定期試験Ⅰ	16	木 2年:前期定期試験Ⅱ	16	日 1・2・3年:夏季休業	16	水 1年:前期定期試験 2年:登院試験
17	金	17	日	17	水 2年:前期定期試験Ⅰ	17	金 2年:前期定期試験Ⅱ	17	月 1・2・3年:夏季休業	17	木 1年:前期追・再試験 2年:登院試験
18	土	18	月	18	木	18	土	18	火 1・2・3年:夏季休業	18	金 1年:前期追・再試験 2年:登院試験
19	日	19	火	19	金	19	日	19	水 1・2・3年:夏季休業	19	土
20	月	20	水	20	土	20	月 海の日	20	木 2・3年:夏季休業	20	日
21	火	21	木	21	日	21	火 2年:前期定期試験Ⅱ 3年:前期定期試験	21	金 2・3年:夏季休業	21	月 敬老の日
22	水	22	金	22	月	22	水 1年:夏季休業 2年:前期定期試験Ⅱ 3年:前期追・再試験・補習	22	土	22	火 国民の休日
23	木	23	土	23	火	23	木 1年:夏季休業 2年:前期定期試験Ⅱ 3年:前期追・再試験・補習	23	日	23	水 秋分の日
24	金	24	日	24	水	24	金 1年:夏季休業 2年:前期定期試験Ⅱ 3年:前期追・再試験・補習	24	月 2年:前期追・再試験・補習 3年:夏季休業	24	木 1年:前期追・再試験 2年:登院試験 3年:特別休業
25	土	25	月	25	木	25	土 1年:夏季休業 体験入学③	25	火 2年:前期追・再試験・補習 3年:夏季休業	25	金 1年:前期追・再試験 2年:登院試験 3年:特別休業
26	日	26	火	26	金	26	日 1年:夏季休業	26	水 2年:前期追・再試験・補習 3年:夏季休業	26	土
27	月	27	水	27	土	27	月 1・2年:夏季休業 3年:前期追・再試験・補習	27	木 2年:前期追・再試験・補習 3年:夏季休業	27	日
28	火	28	木 ・HBワクチン接種 (1回目)	28	日	28	火 1・2・3年:夏季休業	28	金 2年:前期追・再試験・補習 3年:夏季休業	28	月 1年:前期追・再試験 2年:登院試験 3年:模擬試験
29	水 昭和の日・松涛祭 体験入学①	29	金	29	月	29	水 1・2・3年:夏季休業	29	土	29	火 1年:前期追・再試験 2年:登院試験 3年:模擬試験
30	木 1・2・3年:健康診断	30	土	30	火	30	木 1・2・3年:夏季休業	30	日	30	水 1年:前期追・再試験 2年:登院試験
		31	日			31	金 1・2・3年:夏季休業	31	月 2年:前期追・再試験・補習		

2026年度 年間予定表 (後期)

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	木 戴帽式	1	日	1	火	1	金 元旦 1・2・3年: 冬季休業	1	月	1	月 1年: 後期追・再試験・補習
2	金 2年 臨地実習オリエンテーション	2	月	2	水	2	土 1・2・3年: 冬季休業	2	火	2	火 1年: 後期追・再試験・補習
3	土	3	火 文化の日	3	木 ・HBワクチン接種 (3回目)	3	日 1・2・3年: 冬季休業	3	水	3	水 1年: 後期追・再試験・補習 2年: 後期定期試験
4	日	4	水	4	金	4	月 1・2・3年: 冬季休業	4	木	4	木 1年: 後期追・再試験・補習 2年: 後期定期試験
5	月 2年 臨地実習オリエンテーション	5	木	5	土	5	火 1・2年: 冬季休業 3年: 後期定期試験Ⅱ	5	金	5	金 1年: 後期追・再試験・補習 2年: 後期定期試験
6	火 2年 臨地実習オリエンテーション	6	金	6	日	6	水 1・2年: 冬季休業 3年: 後期定期試験Ⅱ	6	土	6	土
7	水 2年 臨地実習オリエンテーション	7	土	7	月	7	木 3年: 後期定期試験Ⅱ ・HBs抗体検査(採血)	7	日	7	日 国家試験(予定)
8	木 2年 臨地実習オリエンテーション	8	日	8	火	8	金	8	月	8	月 1年: 後期追・再試験・補習 2年: 後期追・再試験
9	金	9	月	9	水	9	土	9	火 1年: 特別休業	9	火 卒業証書授与式(予定)
10	土	10	火	10	木	10	日	10	水 1年: 後期定期試験	10	水 1年: 補習 2年: 後期追・再試験
11	日	11	水	11	金	11	月 成人の日	11	木 建国記念日	11	木 1年: 補習
12	月 スポーツの日	12	木	12	土	12	火	12	金 1年: 後期定期試験	12	金
13	火 2年 臨地実習オリエンテーション	13	金	13	日	13	水	13	土	13	土
14	水 2年 臨地実習オリエンテーション	14	土	14	月 3年: 後期定期試験Ⅰ	14	木 ファウンダーズデー	14	日	14	日
15	木	15	日	15	火 3年: 後期定期試験Ⅰ	15	金	15	月 1年: 後期定期試験	15	月
16	金	16	月	16	水	16	土	16	火 1年: 後期定期試験	16	火
17	土	17	火	17	木	17	日	17	水 1年: 後期定期試験	17	水
18	日	18	水	18	金	18	月 3年: 後期追・再試験	18	木 1年: 後期定期試験	18	木
19	月	19	木	19	土	19	火 3年: 後期追・再試験	19	金 1年: 後期定期試験	19	金
20	火	20	金	20	日	20	水 3年: 後期追・再試験	20	土	20	土
21	水	21	土	21	月 2・3年: 冬季休業	21	木	21	日	21	日 春分の日
22	木	22	日	22	火 2・3年: 冬季休業	22	金	22	月 1年: 後期定期試験	22	月 振替休日
23	金	23	月 勤労感謝の日	23	水 1・2・3年: 冬季休業	23	土	23	火 天皇誕生日	23	火
24	土	24	火	24	木 1・2・3年: 冬季休業	24	日	24	水 1年: 後期定期試験	24	水
25	日	25	水	25	金 1・2・3年: 冬季休業	25	月	25	木 1年: 後期追・再試験・補習	25	木
26	月	26	木	26	土 1・2・3年: 冬季休業	26	火	26	金 1年: 後期追・再試験・補習	26	金
27	火	27	金 1年: 月曜授業	27	日 1・2・3年: 冬季休業	27	水	27	土	27	土
28	水	28	土	28	月 1・2・3年: 冬季休業	28	木	28	日	28	日
29	木	29	日	29	火 1・2・3年: 冬季休業	29	金 創立記念日			29	月
30	金	30	月	30	水 1・2・3年: 冬季休業	30	土			30	火
31	土			31	木 1・2・3年: 冬季休業	31	日			31	水





科目名			担当教員名		
口腔生命科学入門Ⅰ			金銅英二、大木絵美、石岡康明、森川雅己、平井博一郎 栗原祐史、大須賀直人、川原良美、宮脇理功、澁谷徹、山上裕介 山田真一郎		
			学年	開講学期	単位
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)	歯科医療と口腔疾患の概要を学び、歯科臨床のシステムや流れを理解することによって、歯科衛生士の役割を自覚し、歯科医学を学ぶ基盤とする。				
教科書	歯科衛生士のための 歯科臨床概論 第2版(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験、出席状況を評価対象とする。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:金銅英二、大木絵美、石岡康明、森川雅己、平井博一郎、栗原祐史、大須賀直人、川原良美、宮脇理功、澁谷徹、山上裕介、山田真一郎				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科診療の流れや歯科衛生士の役割を教え、歯科医療と口腔疾患の基礎を理解させ、歯科医学を学ぶ基盤を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/20-3 限	歯科医療概論	歯とは 歯の構造、働き	1. 歯の構造と働きを理解し説明できる。 2. おもな歯・口の疾病と異常を説明できる。	金銅
	B 4/20-1 限				金銅
2	A 4/27-3 限	歯科臨床①	歯科医院 来院の目的 訴え	来院の目的、訴えを理解する。	金銅
	B 4/27-1 限				金銅
3	A 5/11-3 限	歯科臨床②	炎症とは 歯周病と全身疾患	炎症を理解し説明できる。	金銅
	B 5/11-1 限				金銅
4	A 5/18-3 限	歯科医療のあゆみ	オーラルフレイル 健康長寿	オーラルフレイルを理解し説明できる。	金銅
	B 5/18-1 限				金銅
5	A 5/25-3 限	現代の歯科医療	たばこと健康	たばこの有害性を理解し説明できる。	金銅
	B 5/25-1 限				金銅
6	A 6/1-3 限	歯科診療の概要 1	初診患者の対応	初診時の合理的な医療面接を理解できる。	大木
	B 6/1-1 限				大木
7	A 6/8-3 限	歯科診療の概要 2	歯周病治療	歯科衛生士業務の中での歯周病治療の重要性を理解し、歯周治療の流れを説明できる。	石岡
	B 6/8-1 限				石岡
8	A 6/15-3 限	歯科診療の概要 3	保存修復治療 歯内治療	修復処置・歯内処置の一連の流れを理解する。	森川
	B 6/15-1 限				森川
9	A 6/22-3 限	歯科診療の概要 4	補綴治療	補綴治療の必要性和種類を説明できる。	平井
	B 6/22-1 限				平井
10	A 6/29-3 限	歯科診療の概要 5	口腔外科治療	口腔外科で取り扱う疾患について理解する。	栗原
	B 6/29-1 限				栗原
11	A 7/6-3 限	歯科診療の概要 6	こどもの歯科治療	小児歯科治療を説明できる。	大須賀
	B 7/6-1 限				大須賀
12	A 7/13-3 限	歯科診療の概要 7	矯正歯科治療	矯正歯科治療の流れを説明できる。	川原
	B 7/13-1 限				宮脇 川原 宮脇
13	A 7/21-1 限	歯科診療の概要 8	歯科麻酔科医の仕事	歯科治療時の全身管理の必要性を理解する。	澁谷
	B 7/21-2 限				澁谷
14	A 8/24-3 限	歯科診療の概要 9	障がい者歯科治療	歯科医療におけるスペシャルニーズを理解する。	山上
	B 8/24-1 限				山上
15	A 8/31-3 限	歯科診療の概要 10	エックス線撮影	各種エックス線撮影の特徴を理解する。	山田
	B 8/31-1 限				山田

科目名			担当教員		
口腔生命科学入門Ⅱ			安藤宏、平岡行博、岸英之		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)	「生物」において人体の基礎を、「化学」において生命現象を、そして「心理」において人のこころを学び、「人間」を理解すると共に専門科目の履修につながる基礎的な知識を習得する。				
教科書	新課程二訂版スクエア最新図説生物(第一学習社)＜安藤＞ 全国歯科衛生士教育協議会 監修:歯科衛生学シリーズ『心理学』(医歯薬出版)＜岸＞				
成績評価	担当者ごとに試験を行い評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:岸英之				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、医療現場で患者と接するための心理学の基礎を理解させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/16-4限	細胞の基本的性質	細胞小器官の働き	細胞の構造と細胞小器官の働きを理解する。	安藤
	B 4/17-2限				安藤
2	A 4/23-4限	タンパク質が合成される仕組み	DNA、RNA とタンパク質の合成	遺伝子をもとにタンパク質が合成されるまでの過程を理解する。	安藤
	B 4/24-2限				安藤
3	A 5/7-4限	酵素とタンパク質の性質	タンパク質の構造と酵素	酵素の働きをタンパク質の構造から考え、生体の恒常性の重要性を理解する。	安藤
	B 5/1-2限				安藤
4	A 5/14-4限	細胞膜の透過性	細胞膜の透過性と浸透圧	物質による細胞膜の透過性の違いや浸透圧を理解する。	安藤
	B 5/8-2限				安藤
5	A 5/21-4限	細胞呼吸	ATP と呼吸	生体のエネルギー利用を理解する。	安藤
	B 5/15-2限				安藤
6	A 5/28-4限	酸素の毒性	老化の原因の1つは酸素が毒性を持つことである。	1. 露出着はしない。 2. タバコは吸わない。	平岡
	B 5/22-2限				平岡
7	A 6/4-4限	口腔組織の化学	結合組織の構成成分、歯の無機質	1. コラーゲンの機能を理解する。 2. 歯のフッ素塗布の意義を説明できる。	平岡
	B 5/29-2限				平岡
8	A 6/11-4限	生体中のCaとP	血中カルシウム濃度の維持機構	1. CaとPの生理的役割を理解する。 2. 骨粗鬆症の発症機序を説明できる。	平岡
	B 6/5-2限				平岡
9	A 6/18-4限	骨と歯の石灰化	アパタイトの形成機序	1. 石灰化の諸説を説明できる。 2. 骨のリモデリングを解説できる。	平岡
	B 6/12-2限				平岡
10	A 6/25-4限	唾液の化学	唾液成分の抗う蝕作用	1. う蝕の発生を説明できる。 2. 唾液の意義を理解する。	平岡
	B 6/19-2限				平岡
11	A 7/2-4限	見る・聞く・感じるこころ	知覚成立の基礎	知覚はどのように成立しているか知る。	岸
	B 6/26-2限				岸
12	A 7/9-4限	学ぶ・覚えるこころ	学習のプロセス	学習はどのように成立しているか知る。	岸
	B 7/3-2限				岸
13	A 7/16-4限	健康なこころ	メンタルヘルス	こころが健康な状態とは何か、また、それはどのように測定されるかを知る。	岸
	B 7/10-2限				岸
14	A 7/20-4限	カウンセリングのこころ	カウンセリングとは	患者さんへの支援の意義を理解する。	岸
	B 7/17-2限				岸
15	A 7/27-4限	思いを伝えあうこころ	医療コミュニケーションの基礎	歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する。	岸
	B 8/21-2限				岸

科目名			担当教員		
医療コミュニケーション			森 啓、大木絵美、伊能利之		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	演習	○
授業の目的(GIO)		医療従事者として必要なコミュニケーションに関する知識と技術を習得する。			
教科書		「保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門」(大修館書店)			
成績評価		受講態度および定期試験によって評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:森啓、大木絵美、伊能利之			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、医療従事者として必要な患者とのコミュニケーションに関する知識と技術を演習を通して習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/6-1 限	導入	医療コミュニケーションの概要	医療コミュニケーションの基本理念を理解できる。	森
	B 10/6-2 限				森
2	A 10/13-1 限	プロフェッショナリズム	医療人として行動規範	プロフェッショナリズムについて考えることができる。	大木
	B 10/13-2 限				大木
3	A 10/20-1 限	倫理と態度	医療人としての倫理と態度	医療人として必要な倫理および態度を理解し、説明し実施できる。	伊能
	B 10/20-2 限				伊能
4	A 10/27-1 限	基本的事項	コミュニケーションの基本的スキル	コミュニケーションにおける基本的スキルを理解し説明することができる。	大木
	B 10/27-2 限				大木
5	A 11/10-1 限	コミュニケーションスキル	コミュニケーションスキルの重要性	コミュニケーションスキルとは何かを理解できる。	大木
	B 11/10-2 限				大木
6	A 11/17-1 限	子ども・高齢者・障害者	子どもとその保護者、高齢者、障害児・者に対するコミュニケーション	1. 子どもとその保護者に対するコミュニケーションにおける特性を理解し説明することができる。 2. コミュニケーションを理解し説明することができる。 3. 高齢者、障害児・者のコミュニケーションの特性を理解することができる。	森
	B 11/17-2 限				森
7	A 11/24-1 限	行動変容①	行動変容法の基本的知識	行動変容法の基本的理念を理解し説明できる。	大木
	B 11/24-2 限				大木
8	A 12/1-1 限	行動変容②	行動変容法の応用	行動変容の過程を理解し、それぞれの過程に適した対応を考慮し実施できる。	大木
	B 12/1-2 限				大木
9	A 12/8-1 限	コミュニケーション理論	患者のモチベーション	動機づけの概念を理解できる。	大木
	B 12/8-2 限				大木
10	A 12/15-1 限	医療面接	医療面接の基本的知識	医療面接に対する基本的知識を説明できる。	伊能
	B 12/15-2 限				伊能
11	A 12/22-1 限	ロールプレイ	学生同士にてシミュレーションを試みる	コミュニケーションを理解し、お互いの立場の違いを体験、理解できる。	森
	B 12/22-2 限				森
12	A 1/12-1 限	ポートフォリオ	ポートフォリオとは何か	ポートフォリオの活用法を理解できる。	大木
	B 1/12-2 限				大木
13	A 1/19-1 限	SGD	Small group discussion (SGD) を試みる	Small group discussion (SGD) を理解できる。	森
	B 1/19-2 限				森
14	A 1/26-1 限	診療への備え	臨床の現場における実際のコミュニケーション	医療現場におけるコミュニケーションを理解し実施できる。	森
	B 1/26-2 限				森
15	A 2/2-1 限	まとめ	講義全体のまとめと補足	医療コミュニケーションの概要を説明できる。	森
	B 2/2-2 限				森

科目名			担当教員		
言語表現			山口 亮		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	—
授業の目的(GIO)		1. 基本的な文章を読み、理解する力をつける。 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ。 3. 自分の理解した内容を表現する力をつける。 * 学生の状況により、一部変更あり			
教科書		プリント配布。			
成績評価		授業への取り組み全体を見て、定期試験や提出課題などをもとに総合評価をする。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/6-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/6-3 限				山口
2	A 10/13-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/13-3 限				山口
3	A 10/20-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/20-3 限				山口
4	A 10/27-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/27-3 限				山口
5	A 11/10-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/10-3 限				山口
6	A 11/17-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/17-3 限				山口
7	A 11/24-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/24-3 限				山口
8	A 12/1-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B3 12/1-3 限				山口
9	A 12/8-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 12/8-3 限				山口
10	A 12/15-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 12/15-3 限				山口
11	A 12/22-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 12/22-3 限				山口
12	A 1/12-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 1/12-3 限				山口
13	A 1/19-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 1/19-3 限				山口
14	A 1/26-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 1/26-3 限				山口
15	A 2/2-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明する 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 2/2-3 限				山口

科目名			担当教員		
身体と健康			上條 隆		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前・後期	2	60	実技	—
授業の目的(GIO)	本講義では、身体の構造と機能を知ることから始まり、アンチエイジング、生活習慣病予防における運動の役割へと話を進める。さらに、理論の応用及び実践を図る。				
教科書	プリント配布				
成績評価	定期試験及び、学習意欲などから総合的に判断する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	—				
実務経験を踏まえた授業の内容	—				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/17-2 限	第1回	本講義の概要	本講義の内容を理解	上條
	B 4/17-1 限				上條
2	A 4/24-2 限	第2回	身体の仕組みⅠ(骨構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 4/24-1 限				上條
3	A 5/1-2 限	第3回	身体の仕組みⅡ(筋構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/1-1 限				上條
4	A 5/8-2 限	第4回	身体の仕組みⅢ(循環器の構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/8-1 限				上條
5	A 5/15-2 限	第5回	身体の仕組みⅣ(呼吸器の構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/15-1 限				上條
6	A 5/22-2 限	第6回	加齢による身体機能の変化について	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/22-1 限				上條
7	A 5/29-2 限	第7回	運動と栄養	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/29-1 限				上條
8	A 6/5-2 限	第8回	身体トレーニング理論	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/5-1 限				上條
9	A 6/12-2 限	第9回	無酸素運動とエネルギー	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/12-1 限				上條
10	A 6/19-2 限	第10回	有酸素運動とエネルギー	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/19-1 限				上條
11	A 6/26-2 限	第11回	身体機能低下予防における運動の役割Ⅰ	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/26-1 限				上條
12	A 7/3-2 限	第12回	身体機能低下予防における運動の役割Ⅱ	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 7/3-1 限				上條
13	A 7/10-2 限	第13回	生活習慣病と血液動態について	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 7/10-1 限				上條
14	A 7/17-2 限	第14回	生活習慣病予防における運動の役割	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 7/17-1 限				上條
15	A 8/21-2 限	第15回	本講義のまとめ	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 8/21-1 限				上條

16	A 10/2-1 限	第 16 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/2-2 限				上條
17	A 10/9-1 限	第 17 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/9-2 限				上條
18	A 10/16-1 限	第 18 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/16-2 限				上條
19	A 10/23-1 限	第 19 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/23-2 限				上條
20	A 10/30-1 限	第 20 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/30-2 限				上條
21	A 11/6-1 限	第 21 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/6-2 限				上條
22	A 11/13-1 限	第 22 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/13-2 限				上條
23	A 11/20-1 限	第 23 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/20-2 限				上條
24	A 12/4-1 限	第 24 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/27-2 限				上條
25	A 12/11-1 限	第 25 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 12/11-2 限				上條
26	A 12/18-1 限	第 26 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 12/18-2 限				上條
27	A 1/8-1 限	第 27 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 1/8-2 限				上條
28	A 1/15-1 限	第 28 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 1/15-2 限				上條
29	A 1/22-1 限	第 29 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 1/22-2 限				上條
30	A 2/5-1 限	第 30 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 2/5-2 限				上條

科目名			担当教員		
解剖学・組織発生学			金銅英二、堀部寛治		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		<p>人体の構造と機能を学び、基礎歯科医学を学ぶ礎を築く。            歯科医学では、ヒトの正常な身体について形態・構造の面から学ぶ解剖学と、機能の面から学ぶ生理学・生化学が最も基礎となる学問である。構造と機能は表裏一体であり、関連しながら学ぶ事により、より効率的に生体のメカニズムを理解できる。            『人体の構造と機能Ⅰ』では、生体の機能を考えながら、構造に力点をおき、人体について学ぶ。</p>			
教科書		歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能Ⅰ 解剖学・組織発生学・生理学』 全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験による成績評価の他、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:金銅英二、堀部寛治			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、解剖学・発生学を講義し、歯科医学を学ぶ基礎を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/17-3 限	人体の構造と機能 —序論— 細胞の構造と機能	1. 解剖学とは 2. 人体の構成と区分 3. 体の方向用語 4. 細胞とは 5. 細胞の構造と機能 6. 細胞の一生	1. 人体の構造と機能、解剖学の関連を説明する。 2. 人体の構成と区分を説明する。 3. 体の方向用語を説明する。 4. 細胞の基本構造と機能を説明する。 5. 細胞の一生(増殖、分化、死)について説明する。	堀部
	B 4/16-3 限				堀部
2	A 4/24-3 限	組織の構造と機能 Ⅰ	1. 組織とは 2. 上皮組織	1. 細胞、組織、器官の階層を説明する。 2. 上皮組織の構造と特徴を説明する。	堀部
	B 4/23-3 限				堀部
3	A 5/1-3 限	組織の構造と機能 Ⅱ	1. 支持組織の概要 2. 結合組織の構造 3. 軟骨組織の構造 4. 骨組織の構造 5. 血液の構成	1. 支持組織の特徴を説明する。 2. 結合組織、軟骨組織、骨組織、血液の構造と特徴を説明する。	堀部
	B 5/7-3 限				堀部
4	A 5/8-3 限	組織の構造と機能 Ⅲ	1. 筋組織の構造 2. 神経組織の構造	1. 筋組織の構造と特徴を説明する。 2. 神経組織の構造と特徴を説明する。	堀部
	B 5/14-3 限				堀部
5	A 5/15-3 限	生殖 個体発生Ⅰ	1. 個体発生の概要 2. 染色体と減数分裂 3. 生殖器官の構造と機能 4. 受精と着床	1. ヒトの個体発生の概要を説明する。 2. 染色体と減数分裂について説明する。 3. 生殖器官の構造・機能を説明する。 4. 受精と着床を説明する。	堀部
	B 5/21-3 限				堀部
6	A 5/22-3 限	個体発生Ⅱ	1. 三胚葉の発生 2. 胚葉と器官形成	1. 三胚葉発生の概要を説明する。 2. 三胚葉と器官系の関連を説明する。	堀部
	B 5/28-3 限				堀部
7	A 5/29-3 限	骨格系	1. 骨の構造と機能 2. 人体を構成する骨	1. 骨の構造と機能を説明する。 2. 頭蓋、体幹、上肢・下肢を構成する骨を説明する。	金銅
	B 6/4-3 限				金銅
8	A 6/5-3 限	筋と運動	1. 筋の構造と機能 2. 全身の筋	1. 骨格筋の形態、骨との付着、起始・停止を説明する。 2. 全身に分布する骨格筋の名称と機能を説明する。	金銅
	B 6/11-3 限				金銅
9	A 6/8-3 限	消化・吸収	1. 消化・吸収とは 2. 消化器の構造と機能	消化器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。	金銅
	B 6/18-3 限				金銅
10	A 6/19-3 限	循環	1. 脈管系の概要 2. 血管の構造と機能 3. 心臓の構造と機能 4. 動・静脈の構造と機能 5. リンパ系の概要	脈管系(心臓、動脈系、静脈系、リンパ系)の構造と機能を説明する。	金銅
	B 6/25-3 限				金銅

11	A 6/26-3 限	神経系	1. 神経系の概要 2. 中枢神経系 3. 末梢神経系	1. 神経の分類と機能を説明する。 2. 中枢神経(脳・脊髄)の構造と分布を説明する。 3. 末梢神経の構造と分布を説明する。	金銅
	B 7/2-3 限				金銅
12	A 7/3-3 限				金銅
	B 7/9-3 限				金銅
13	A 7/10-3 限	呼吸 感覚	1. 呼吸とは 2. 呼吸器系の構造と機能 3. 感覚器系の構造と機能	1. 呼吸器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。 2. 感覚器系(外皮、視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器)の名称と構造を説明する。	金銅
	B 7/16-3 限				金銅
14	A 7/17-3 限	排泄 内分泌	1. 泌尿器系の構造と機能 2. 内分泌とは 3. 内分泌系の構造と機能	1. 泌尿器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。 2. 内分泌系器官の名称と構造を説明する。 3. ホルモン作用を説明する。	堀部
	B 8/20-3 限				堀部
15	A 8/21-3 限	人体の構造と機能 —総括—	人体の構造と機能のまとめ	人体の構造と機能を復習、総括する。	堀部
	B 8/27-3 限				堀部

科目名			担当教員		
生理学			北川純一		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	1	16	講義	—
授業の目的(GIO)	人体の神経、運動、恒常性など生理機能について理解する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学』(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験				
実務経験のある教員及び実務経験職種	—				
実務経験を踏まえた授業の内容	—				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/16-3 限	神経	末梢・中枢神経	神経の機能が説明できる。	北川
	B 4/16-2 限				北川
2	A 4/23-3 限	筋・運動	筋細胞・運動神経	筋肉が動くメカニズムを説明できる。	北川
	B 4/23-2 限				北川
3	A 5/7-3 限	感覚	体性感覚および特殊感覚	感覚と受容器について説明できる。	北川
	B 5/7-2 限				北川
4	A 5/14-3 限	血液・循環	血液および循環	血液循環について説明できる。	北川
	B 5/14-2 限				北川
5	A 5/21-3 限	呼吸・消化・吸収	呼吸・消化管の機能	呼吸・消化・吸収について説明できる。	北川
	B 5/21-2 限				北川
6	A 5/28-3 限	内分泌・生殖	内分泌調節	内分泌調節について説明できる。	北川
	B 5/28-2 限				北川
7	A 6/4-3 限	排泄・体温	排泄機能・体温調節	排泄および体温調節について説明できる。	北川
	B 6/4-2 限				北川
8	A 6/11-3 限	前半まとめ	生理学について	さまざまな生理機能を復習する。	北川
	B 6/11-2 限				北川

科目名			担当教員		
生化学・口腔生化学			上原俊介		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	1	16	講義	—
授業の目的(GIO)		生化学及び口腔生化学の基本的な用語を理解し、生命現象を化学的視点で説明する基盤を身に付ける。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能3 栄養学』(医歯薬出版)			
成績評価		期末試験による			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/17-1 限	生化学を学ぶ上での化学の基礎	1. 生化学と代謝 2. 原子とイオン 3. pHと緩衝液	1. 代謝について説明できる。 2. 原子と元素記号、イオンについて説明できる。 3. pHの概念と緩衝液の性質について説明できる。	上原
	B 4/17-4 限				上原
2	A 4/24-1 限	糖質代謝と脂質代謝	1. 糖質の分類 2. 脂質の分類 3. 糖質と脂質の代謝	1. 単糖、二糖、多糖について説明できる。 2. 必須脂肪酸について説明できる。 3. デンプン及び中性脂肪の消化とエネルギー産生の反応経路を説明できる。	上原
	B 4/24-4 限				上原
3	A 5/1-1 限	タンパク質、アミノ酸代謝、遺伝子	1. アミノ酸の分類 2. タンパク質の代謝 3. DNAとRNA 4. セントラルドグマ	1. 必須アミノ酸について説明できる。 2. アミノ酸の代謝について説明できる。 3. DNAとRNAの違いを説明できる。 4. セントラルドグマにおける転写と翻訳を説明できる。	上原
	B 5/1-4 限				上原
4	A 5/8-1 限	ビタミンと酵素・補酵素	1. ビタミンの分類 2. ビタミン欠乏症 3. 酵素の特徴と補酵素	1. 水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンを説明できる。 2. 代表的なビタミン欠乏症を説明できる。 3. 酵素と触媒の違いを説明できる。	上原
	B 5/8-4 限				上原
5	A 5/15-1 限	結合組織と歯	1. 細胞外マトリックス 2. 結合組織の分解 3. 歯の構成成分	1. 細胞外マトリックスのタンパク質を説明できる。 2. 結合組織の分解の基本を説明できる。 3. ヒドロキシアパタイトと歯のタンパク質を説明できる。	上原
	B 5/15-4 限				上原
6	A 5/22-1 限	石灰化とカルシウム代謝 唾液の成分	1. 石灰化機構とリモデリング 2. カルシウム代謝 3. 唾液の成分と機能	1. 基質小胞説、骨形成及び骨吸収について説明できる。 2. カルシウム濃度を調節するホルモンを説明できる。 3. 唾液に含まれる有機成分と無機成分が果たす役割を説明できる。	上原
	B 5/22-4 限				上原
7	A 5/29-1 限	ペリクルとプラーク う蝕の基本	1. ペリクルとプラークの特徴 2. 歯肉縁上プラークとう蝕 3. う蝕予防	1. ペリクルとプラークの違いを説明できる。 2. 細菌によるエナメル質の脱灰の仕組みを説明できる。 3. フッ素塗布の意義と低・非う蝕性代用甘味料を説明できる。	上原
	B 5/29-4 限				上原
8	A 6/5-1 限	免疫と歯周疾患	1. 歯肉縁下プラークの特徴と歯周病原性細菌 2. 免疫の概説 3. 歯周疾患の基礎	1. 歯肉縁下プラークの特徴と歯周病原性細菌を説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫に関わる基本的な細胞について説明できる。 3. 炎症と組織破壊及び骨破壊について説明できる。	上原
	B 6/5-4 限				上原

科目名			担当教員		
口腔解剖・口腔組織発生学			奥村雅代、金銅英二、西田大輔		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	3	46	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科医療に従事するものとして、歯科医学の基礎として、歯と口腔の構造と機能を学ぶ。 学ぶ対象と視点から大きく以下の3つに分類し、それぞれについて理解する。 1. 口腔の構造と機能 2. 歯の構造、種類と機能 3. 歯と口腔の組織構造と機能			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)			
成績評価		定期試験による成績評価の他、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:金銅英二、西田大輔			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯の解剖学・口腔組織学を講義し、歯科医学の基礎を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/16-1 限	口腔解剖学序論	口腔とは 口腔解剖学の概要	1. 口腔の各部位の名称と特徴を説明できる。 2. 固有口腔と口腔前庭の特徴を説明できる。	奥村
	B 4/16-4 限				奥村
2	A 4/23-1 限	歯の解剖学総論①	歯の概要、歯の構造 歯の種類と名称、歯の記号	1. 歯の概要、構造を説明できる。 2. 歯の種類と名称を説明できる。 3. 歯の記号を説明できる。	金銅
	B 4/23-4 限				金銅
3	A 5/7-1 限	歯の解剖学総論②	歯の方向用語 歯の形態	1. 歯の方向用語を説明できる。 2. 歯の形態(歯冠、歯根、歯髓腔)を説明できる。	金銅
	B 5/7-4 限				金銅
4	A 5/14-1 限	永久歯①	切歯の種類と特徴 犬歯の特徴	1. 切歯の種類と形態の特徴を説明できる。 2. 犬歯の形態の特徴を説明できる。	金銅
	B 5/14-4 限				金銅
5	A 5/21-1 限	永久歯②	小臼歯の種類と特徴	小臼歯の種類と形態の特徴を説明できる。	金銅
	B 5/21-4 限				金銅
6	A 5/28-1 限	永久歯③	大臼歯の種類と特徴 永久歯の鑑別演習	1. 大臼歯の種類と形態の特徴を説明できる。 2. 鑑別演習により、永久歯のかたちの理解を深める。	金銅
	B 5/28-4 限				金銅
7	A 6/4-1 限	乳歯	乳歯の種類と特徴 乳歯の形態の特徴	1. 乳歯の種類と特徴を説明できる。 2. 各乳歯の形態と特徴を説明できる。	金銅
	B 6/4-4 限				金銅
8	A 6/11-1 限	歯の異常	歯の数、大きさ、形態の異常	歯の数、大きさ、形態の異常を説明できる。	金銅
	B 6/11-4 限				金銅
9	A 6/12-1 限	歯と口腔の組織・序論/エナメル質/象牙質/歯髓	歯と口腔を構成する組織の概要 エナメル質・象牙質・歯髓の組織構造と機能	1. 歯と口腔を構成する組織の概要を説明できる。 2. エナメル質の組織構造と機能の特徴を説明できる。 3. 象牙質の組織構造と機能の特徴を説明できる。 4. 歯髓の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 6/12-3 限				西田
10	A 6/18-1 限	歯列と咬合	歯列と咬合の概要	歯列と咬合の概要を説明できる。	金銅
	B 6/18-4 限				金銅
11	A 6/19-1 限	セメント質/歯根膜/歯槽骨	セメント質・歯根膜・歯槽骨の組織構造と機能	1. セメント質の組織構造と機能の特徴を説明できる。 2. 歯根膜の組織構造と機能の特徴を説明できる。 3. 歯槽骨の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 6/19-3 限				西田
12	A 6/25-1 限	口腔、舌と咽頭	口腔の構造 舌のかたちと構造、機能 咽頭のかたちと構造、機能	1. 口腔の各部の名称と構造を説明できる。 2. 舌各部の名称と構造、機能を説明できる。 3. 咽頭各部の名称と構造、機能を説明できる。	奥村
	B 6/25-4 限				奥村

13	A 6/26-1 限	歯肉/口腔粘膜/唾液腺	歯肉・口腔粘膜・唾液腺の組織構造と機能	1. 歯肉の組織構造と機能の特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の組織構造と機能の特徴を説明できる。 3. 唾液腺の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 6/26-3 限				西田
14	A 7/2-1 限	頭蓋骨	頭蓋骨の種類と構成	1. 頭蓋を構成する骨を説明できる。 2. 頭蓋骨の外観と構成を説明できる。	奥村
	B 7/2-4 限				奥村
15	A 7/3-1 限	口腔組織発生	鰓弓、顔面と口蓋の形成・歯の発生	1. 鰓弓および顔面と口蓋形成の概要を説明できる。 2. 歯・歯周組織の発生の概要を説明できる。	西田
	B 7/3-3 限				西田
16	A 7/9-1 限	口腔を構成する骨	上顎骨と口蓋骨 下顎骨	1. 上顎を構成する骨を説明できる。 2. 下顎を構成する骨を説明できる。	奥村
	B 7/9-4 限				奥村
17	A 7/10-1 限	歯と口腔の組織	歯・歯周組織の組織構造	1. 歯・歯周組織の組織構造について、スライドを用い実習できる。 2. 歯と口腔の組織について総括できる。	西田
	B 7/10-3 限				西田
18	A 7/16-1 限	下顎の筋と顎関節	咀嚼筋の起始と停止、作用 顎関節の構造と機能	1. 下顎運動に関わる筋を説明できる。 2. 顎関節の構造と機能を説明できる。	奥村
	B 7/16-4 限				奥村
19	A 7/17-1 限	頭頸部と顔面の筋	舌骨上筋と舌骨下筋 表情筋の起始と停止、作用	1. 頸部の筋と前頸三角を説明できる。 2. 表情筋の起始と停止、作用を説明できる。	奥村
	B 7/17-3 限				奥村
20	A 8/20-1 限	口腔付近に分布する脈管	口腔付近に分布する動脈、静脈、リンパ	頭頸部と顎顔面部に分布する動脈、静脈、リンパを説明できる。	奥村
	B 8/20-4 限				奥村
21	A 8/21-1 限	神経①	末梢神経と自律神経	末梢神経と自律神経の構成と機能を説明できる。	奥村
	B 8/21-3 限				奥村
22	A 8/27-1 限	神経②	三叉神経、顔面神経	三叉神経と顔面神経の構成と機能を説明できる。	奥村
	B 8/27-4 限				奥村
23	A 8/28-1 限	神経③	舌咽神経、迷走神経、舌下神経	舌咽神経、迷走神経、舌下神経の構成と機能を説明できる。	奥村
	B 8/28-3 限				奥村

科目名			担当教員		
口腔生理学			北川純一		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	1	16	講義	—
授業の目的(GIO)		口腔の神経、運動、恒常性など生理機能について理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 6/18-3 限	口腔感覚	口腔感覚機能	口腔内の感覚が説明できる。	北川
	B 6/18-2 限				北川
2	A 6/25-3 限	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚機能	味覚・嗅覚の役割を説明できる。	北川
	B 6/25-2 限				北川
3	A 7/2-3 限	咬合	咬合運動	咬合運動の役割を説明できる。	北川
	B 7/2-2 限				北川
4	A 7/9-3 限	咀嚼	咀嚼運動	咀嚼運動の役割を説明できる。	北川
	B 7/9-2 限				北川
5	A 7/16-3 限	嚥下・嘔吐	嚥下反射と嘔吐反射	嚥下・嘔吐反射について説明できる。	北川
	B 7/16-2 限				北川
6	A 8/20-3 限	発声・構音	発声・構音の機序	発声・構音について説明できる。	北川
	B 8/20-2 限				北川
7	A 8/24-1 限	唾液	唾液の機能	唾液分泌について説明できる。	北川
	B 8/27-3 限				北川
8	A 8/27-3 限	後半まとめ	口腔機能について	口腔機能のメカニズムを復習する。	北川
	B 8/27-2 限				北川

科目名			担当教員		
<b>栄養学</b>			中村美どり、大澤百合恵、竹内由里		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	1	16	講義	○
授業の目的(GIO)		1. ライフステージ別に必要な栄養を選択できる知識を習得する。 2. 栄養アセスメントを通じて、乳幼児期から高齢期の食事指導が行える能力を習得する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修： 歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能 3 栄養学』（医歯薬出版）			
成績評価		出席数、提出物と授業態度および期末試験結果から総合評価を行う。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：中村美どり 管理栄養士：大澤百合恵、竹内由里			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、ライフステージ別に必要な栄養を選択できる知識を習得させる。 管理栄養士として病院での勤務経験のある教員が栄養アセスメントを通じて、幼児期から高齢期の食事指導が行える能力を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/8-3 限	栄養素の働き 1	糖質とタンパク質の栄養学	1. 糖質とタンパク質の働きを説明できる。 2. 糖質とタンパク質の消化吸収を説明できる。	中村
	B 10/9-3 限				中村
2	A 10/15-3 限	栄養素の働き 2	脂質とビタミンおよびミネラルの栄養学	1. 脂質とビタミンおよびミネラルの働きを説明できる。 2. 脂質とビタミンおよびミネラルの消化吸収を説明できる。	中村
	B 10/16-3 限				中村
3	A 10/22-3 限	食事摂取基準	基礎代謝と食事摂取基準	食事摂取基準を説明できる。	中村
	B 10/23-3 限				中村
4	A 10/29-3 限	食生活と健康 1	国民の健康と栄養望ましい食生活 1	1. 日本人の食生活の変遷を概説できる。 2. 「健康日本 21」と食の関係を概説できる。 3. 特別用途食品を説明できる。	中村
	B 10/30-3 限				中村
5	A 11/5-3 限	食生活と健康 2	国民の健康と栄養望ましい食生活 2	食育について説明できる。	中村
	B 11/6-3 限				中村
6	A 11/12-3 限	健康調査と評価	栄養調査の手法と評価	1. 国民健康栄養調査結果の概要 2. 栄養評価のまとめ	中村
	B 11/13-3 限				中村
7	A 11/19-3 限	栄養評価	食事バランスガイド	1. 食事バランスガイドを説明できる。 2. 望ましい食事の組み合わせを説明できる。	竹内
	B 11/20-3 限				大澤
8	A 11/26-3 限	栄養指導	ライフステージ別食生活	成長期、成人期、高齢期の食生活の特徴を説明できる。	竹内
	B 11/27-3 限				大澤

科目名			担当教員		
病理学・口腔病理学			嶋田勝光、村上 聡		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科臨床における各種疾患の病態の把握、治療に関する病理学的基盤、すなわち基本病変の病因、病態、転帰について習得する。その上で、とくに口腔・顎顔面領域に起こる疾患について理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学』(医歯薬出版)			
成績評価		講義内容に対する筆記試験(記述式、多肢選択式)によって評価を行う。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:村上聡、嶋田勝光			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験を踏まえ、病理診断医として実践的な病理・口腔病理学を教授する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/8-2 限	序論、病因論、遺伝性疾患と奇形	内因、外因、遺伝子病、配偶子病、顕性遺伝、潜性遺伝、伴性遺伝、染色体異常	病因論について説明できる。 遺伝病について概説できる。 染色体異常を説明できる。	嶋田
	B 10/8-1 限				嶋田
2	A 10/15-2 限	循環障害(確認テスト)	循環系、水腫、虚血、充血、出血とその素因、血液凝固機序と血栓症、塞栓症、ショック、傍倒循環、高血圧と低血圧	循環障害を分類し、それぞれを説明できる。	嶋田
	B 10/15-1 限				嶋田
3	A 10/22-2 限	代謝障害と退行性病変(確認テスト)	変性、萎縮、壊死、アポトーシス、代謝障害、内分泌障害	退行性病変を分類し、それぞれを説明できる。	嶋田
	B 10/22-1 限				嶋田
4	A 10/29-2 限	増殖と修復(確認テスト)	細胞の増殖と分化、肥大と再生、化生、再生、肉芽組織	増殖と修復について分類し、各々を概説できる。	嶋田
	B 10/29-1 限				嶋田
5	A 11/5-2 限	炎症 1(確認テスト)	炎症の定義、原因、組織変化、炎症性細胞とケミカルメディエーター、急性炎症、慢性炎症、炎症の転帰、名称と種類、病原微生物と炎症反応	炎症の定義、原因と組織変化、炎症のメカニズムについて説明できる。 急性炎症と慢性炎症の違いを説明できる。	嶋田
	B 11/5-1 限				嶋田
6	A 11/12-2 限	炎症 2(確認テスト)	日和見感染、免疫応答、移植免疫、アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症候群	炎症と感染症、免疫とアレルギー、自己免疫疾患を概説できる。	嶋田
	B 11/12-1 限				嶋田
7	A 11/19-2 限	腫瘍(確認テスト)	腫瘍概論、腫瘍組織と細胞、腫瘍の発生、腫瘍の原因、腫瘍の増殖、良性と悪性、腫瘍の分類、疫学	腫瘍について概説できる。 腫瘍の良性と悪性の違いを説明できる。	嶋田
	B 11/19-1 限				嶋田
8	A 11/26-2 限	歯の発育異常、損傷、着色、沈着症(確認テスト)	大きさの異常、形の異常、数の異常、構造の異常、色の異常、萌出の異常、位置の異常、咬合の異常、歯の機械的・化学的損傷、プラーク、歯石、歯の着色	歯の発育異常、損傷と付着物についてそれぞれ説明できる。	嶋田
	B 11/26-1 限				嶋田
9	A 12/3-2 限	う蝕、象牙質歯髄複合体の病変(確認テスト)	う蝕の進行、歯髄炎、歯髄壊死、刺激に対する歯髄の応答	う蝕と象牙質・歯髄複合体に起こる病変を説明できる。	嶋田
	B 12/3-1 限				嶋田
10	A 12/10-2 限	歯周組織の病変、口腔粘膜疾患(確認テスト)	歯肉病変、歯肉炎、歯周炎、歯の移動、インプラントの病理 色調異常、粘膜上皮の疾患、前癌病変	1. 根尖性、辺縁性歯周組織の病態を説明できる。 2. 歯科治療に伴う治癒の状態を概説できる。 3. 口腔粘膜疾患、口腔癌、前癌病変を説明できる。	嶋田
	B 12/10-1 限				嶋田

11	A 12/17-2 限	嚢胞、口腔の腫瘍、 口腔癌 (確認テスト)	歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞、歯源性 腫瘍、非歯源性腫瘍、口腔癌	1. 口腔の嚢胞を分類し概説できる。 2. 口腔の腫瘍、口腔癌について説明できる。	嶋田
	B 12/17-1 限				嶋田
12	A 1/7-2 限	顎骨の病変 (確認テスト)	顎骨骨髓炎、骨壊死、腫瘍様病変	1. 顎骨の病変について概説できる。 2. 薬剤関連性骨壊死を説明できる。	嶋田
	B 1/7-1 限				嶋田
13	A 1/21-2 限	唾液腺の疾患、唾 液腺腫瘍 (確認テスト)	唾液腺の疾患、唾液腺腫瘍	1. 唾液腺疾患について概説できる。 2. 唾液腺腫瘍を説明できる。	嶋田
	B 1/21-1 限				嶋田
14	A 1/28-2 限	口腔の奇形、口腔 の加齢変化 (確認テスト)	顔面・口腔の発生とその奇形、発育 異常 加齢に伴う口腔病変、全身疾患	1. 口腔の発育異常、奇形を分類する。 2. 加齢、全身疾患と口腔病変について理解する。	嶋田
	B 1/28-1 限				嶋田
15	A 2/4-2 限	まとめ講義・病理検 査	病理総論と病理各論(口腔病理学) の再整理、臨床病理への展開	病理学・口腔病理学の臨床への応用について理解 する。	村上
	B 2/4-1 限				村上

科目名			担当教員		
薬理学・歯科薬理学			喜多村洋幸		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)	薬物は薬理作用をもつ化学物質であり、疾患の治療や予防を目的として適応される。薬物による生体への影響(薬理作用)を理解し、薬物と疾患との関係、薬物の作用機序や副作用などを習得する。これらを学ぶ上で必要且つ重要となる基礎的知識(生理学・生化学・微生物学など)も確認しながら、総合的に薬理学・歯科薬理学を理解する。				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ『疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版』(医歯薬出版)				
成績評価	筆記試験など、出席状況				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師: 喜多村洋幸				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師としての病院勤務の経験を踏まえて薬理学の基本的知識及び治療薬について講義する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/7-2 限	総論 1	薬物の定義と分類 薬物の作用	1. 法律による薬物の定義と分類を説明できる。 2. 薬理作用の基本形式とメカニズムを理解する。	喜多村
	B 10/7-1 限				喜多村
2	A 10/14-2 限	総論 2	薬物動態	1. 薬物動態の基本事項を説明できる。 2. 薬物の適用方法の種類、反復・併用効果を理解する。	喜多村
	B 10/14-1 限				喜多村
3	A 10/21-2 限	総論 3	薬物相互作用 薬物の副作用	1. 薬効に影響を及ぼす要因を説明できる。 2. 薬物の副作用を理解する。	喜多村
	B 10/21-1 限				喜多村
4	A 10/28-2 限	総論 4	薬物の取り扱い	1. 薬物の取り扱いについて理解する。 2. 全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬の作用を理解する。	喜多村
	B 10/28-1 限				喜多村
5	A 11/4-2 限	中枢神経系と薬	中枢神経系に作用する薬物	1. 全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬の作用を理解する。	喜多村
	B 11/4-1 限				喜多村
6	A 11/11-2 限	末梢神経系と薬 呼吸器系と薬	自律神経系に作用する薬物 呼吸器系に作用する薬物	1. 交感神経・副交感神経作動薬・遮断薬の作用を理解する。 2. 筋弛緩薬の作用を理解する。 3. 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬の作用を理解する。	喜多村
	B 11/11-1 限				喜多村
7	A 11/18-2 限	循環系と薬 代謝性疾患治療薬	循環系に作用する薬物 代謝性疾患に作用する薬物	1. 高血圧・不整脈・心不全・狭心症・高脂血症治療薬の作用を理解する。 2. 糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬の作用を理解する。 3. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 4. 局所麻酔薬の適応、効果、副作用を理解する。	喜多村
	B 11/18-1 限				喜多村
8	A 11/25-2 限	局所麻酔薬	局所麻酔薬	1. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 2. 局所麻酔薬の適応、効果、副作用を理解する。	喜多村
	B 11/25-1 限				喜多村
9	A 12/2-2 限	血液と薬	止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬	1. 血液凝固系と線溶系の機序を説明できる。 2. 止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬の作用を理解する。	喜多村
	B 12/2-1 限				喜多村
10	A 12/9-2 限	炎症と薬	抗炎症薬、解熱鎮痛薬	1. 炎症を説明できる。 2. ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬の作用を理解する。	喜多村
	B 12/9-1 限				喜多村

11	A 12/16-2 限	抗感染症薬	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬	1. 抗感染症薬の分類と作用を理解する。	喜多村
	B 12/16-1 限				喜多村
12	A 1/13-2 限	悪性腫瘍と薬 痛みと薬	抗悪性腫瘍薬 鎮痛薬	1. 抗悪性腫瘍薬の作用を理解する。 2. 鎮痛薬の作用を理解する。	喜多村
	B 1/13-1 限				喜多村
13	A 1/20-2 限	消毒薬	消毒薬	1. 消毒薬の種類と用途を説明できる。 2. B型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルスなどに有効な消毒薬を説明できる。	喜多村
	B 1/20-1 限				喜多村
14	A 1/27-2 限	免疫と薬 歯科疾患と治療薬	抗アレルギー薬、ワクチン、歯・歯髄疾患、歯周疾患、顎・口腔粘膜疾患と治療薬	1. 抗アレルギー薬、ワクチンの作用を理解する。 2. 歯と歯髄疾患、歯周疾患、顎・口腔粘膜疾患における治療薬を理解する。	喜多村
	B 1/27-1 限				喜多村
15	A 2/3-2 限	漢方薬 全体のまとめ	漢方薬 全体のまとめ	1. 漢方薬について理解する。 2. 全体のまとめ	喜多村
	B 2/3-1 限				喜多村

科目名			担当教員		
微生物学・口腔微生物学			植野裕司		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		微生物の基本的知識を学び、人と感染症の関係を理解する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学シリーズ『疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第2版』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験、出席状況、授業態度を総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 植野裕司			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、微生物の基本的知識を講義し、人と感染症の関係を理解させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/2-2 限	微生物学概論	1. 微生物学とは 2. 感染	1. 微生物の種類と分類を説明できる。 2. 微生物の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 3. ヒトの生活に関連する病原微生物と有用微生物を説明できる。 4. 感染の定義と成立要件を理解できる。 5. 感染の種類を理解できる。	植野
	B 10/8-2 限				植野
2	A 10/9-2 限	微生物学総論①	1. 微生物学総論	1. 細菌の形態、構造、病原因子などについて説明できる。 2. ウイルスの形態、構造などについて説明できる。 3. 真菌の形態、構造などについて説明できる。	植野
	B 10/15-2 限				植野
3	A 10/16-2 限	微生物学総論②	1. 微生物の培養、観察と検査	1. 細菌の培養法、観察法および検査法を概説できる。 2. ウイルスの培養法、観察法および検査法を概説できる。 3. 真菌の培養法、観察法および検査法を概説できる。	植野
	B 10/22-2 限				植野
4	A 10/23-2 限	微生物学総論③	1. 化学療法	1. 化学療法の目的および副作用を説明できる。 2. 化学療法の種類と作用機序を説明できる。 3. 薬剤耐性の機序を説明できる。 4. 歯科臨床で使用する化学療法薬を説明できる。	植野
	B 10/29-2 限				植野
5	A 10/30-2 限	微生物学総論④	1. 消毒と滅菌	1. 消毒・滅菌の意義と原理を説明できる。 2. 消毒法と滅菌法の種類と作用機序を説明できる。 3. 院内感染の原因と予防法を説明できる。 4. 標準予防策<Standard precautions>を説明できる。 5. 歯科臨床における消毒・滅菌および院内感染対策の重要性を理解できる。	植野
	B 11/5-2 限				植野
6	A 11/6-2 限	免疫学①	1. 免疫の仕組み 2. 生体のバリア機構 3. 自然免疫	1. 免疫の定義と免疫関連組織・細胞を概説できる。 2. 生体のバリア機構を概説できる。 3. 自然免疫の仕組みを概説できる。	植野
	B 11/12-2 限				植野
7	A 11/13-2 限	免疫学②	1. 抗原提示 2. 獲得免疫	1. 抗原提示の仕組みを概説できる。 2. 獲得免疫の仕組みを概説できる。	植野
	B 11/19-2 限				植野
8	A 11/20-2 限	免疫学③	1. 受動免疫と能動免疫 2. アレルギー 3. 自己免疫疾患	1. 能動免疫と受動免疫の仕組みを概説できる。 2. 粘膜免疫の仕組みを概説できる。 3. アレルギーの定義および自己免疫疾患との違いについて概説できる。 4. アレルギーの類型について概説できる。 5. 免疫寛容と自己免疫疾患について説明できる。 6. 先天性免疫不全と後天性免疫不全について説明できる。 7. 臓器移植の際の拒絶反応について説明できる。	植野
	B 11/26-2 限				植野
9	A 12/4-2 限	医科微生物学①	1. グラム陽性球菌 2. グラム陽性桿菌	1. 主な病原細菌の性状と病原因子、感染機構を説明できる。 2. 主な細菌感染症の病態および予防・治療法を説明できる。	植野
	B 12/3-2 限				植野
10	A 12/11-2 限	医科微生物学②	1. グラム陰性球菌 2. グラム陰性桿菌 3. スピロヘータ	1. 主な病原細菌の性状と病原因子、感染機構を説明できる。 2. 主な細菌感染症の病態および予防・治療法を説明できる。	植野
	B 12/10-2 限				植野

11	A 12/18-2 限	医科微生物学③	1. 非定型細菌 2. ウイルス感染症 3. 真菌・原虫感染症	1. DNA ウイルスと RNA ウイルスを説明できる。 2. 急性ウイルス感染と持続性ウイルス感染を説明できる。 3. 歯科に関連するウイルス・真菌・原虫の性状と感染機構を説明できる。 4. 歯科に関連するウイルス・真菌・原虫感染症の病態および治療法・予防法を説明できる。	植野
	B 12/17-2 限				植野
12	A 1/8-2 限	口腔微生物学①	1. 口腔環境と常在微生物 2. バイオフィームとしてのプラーク	1. 口腔環境の特殊性について概説できる。 2. 感染における唾液の役割について概説できる。 3. 口腔常在微生物叢について概説できる。 4. プラーク(バイオフィームとして)の形成とその微生物叢を概説できる。 5. バイオフィーム感染症を概説できる。	植野
	B 1/7-2 限				植野
13	A 1/15-2 限	口腔微生物学②	1. う蝕の細菌学 2. 歯周病の細菌学	1. う蝕の発生機序について説明できる。 2. う蝕の病理学的特徴について説明できる。 3. う蝕原性細菌と病原因子について説明できる。 4. 歯周病の分類と疫学について説明できる。 5. 歯周病の病理学的特徴について説明できる。 6. 歯周病原細菌とその病原因子について説明できる。 7. 歯周組織が破壊される機序について説明できる。	植野
	B 1/21-2 限				植野
14	A 1/22-2 限	口腔微生物学③	1. その他の口腔感染症	1. 微生物が原因で口腔に症状を現す疾患を概説できる。 2. 口腔微生物が原因で全身に症状を現す疾患を概説できる。	植野
	B 1/28-2 限				植野
15	A 2/5-2 限	総復習	微生物学の要点の復習	1. 微生物学および口腔微生物学に関する基礎的知識を整理し、微生物の種類、構造、性状および感染成立の機序について説明できる。 2. 細菌、ウイルス、真菌、原虫の特徴ならびにそれらによる主な感染症の病態、予防法および治療法について説明できる。 3. 免疫の基本的仕組み、感染防御における自然免疫および獲得免疫の役割について概説できる。 4. 消毒・滅菌、化学療法および院内感染対策の基本原則を理解し、歯科臨床との関連を説明できる。 5. 口腔環境の特殊性を踏まえ、口腔常在微生物、プラーク(バイオフィーム)およびう蝕・歯周病をはじめとする口腔感染症の発症機序を説明できる。	植野
	B 2/4-2 限				植野

科目名			担当教員		
口腔衛生学 I			定岡 直		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進のための原理を理解し、健康づくりの方策を学ぶ。地域社会における集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を学ぶ。			
教科書		歯科衛生学シリーズ 『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学』(医歯薬出版)			
成績評価		受講態度および定期試験			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 定岡直			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進のための原理等を講義し、地域社会における集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/21-3 限	歯・口腔の健康増進①	口腔環境の健康と予防の定義と方法	WHOが定めた健康の定義、Leavell & Clark の予防の水準、ハイリスクストラテジー・ポピュレーションストラテジーを説明できる。	定岡
	B 4/21-1 限				定岡
2	A 4/28-3 限	歯・口腔の健康増進②	WHOの口腔保健目標・健康日本 21 と健康増進法、歯科口腔保健法	WHO2020 の目標、健康日本 21 の成り立ちや経過、健康増進法、歯科口腔保健法を説明できるようにする。	定岡
	B 4/28-1 限				定岡
3	A 5/12-3 限	歯・口腔の構造①	歯・歯周組織・口腔粘膜・舌・顎関節	歯と口腔の構造について説明できるようにする。	定岡
	B 5/12-1 限				定岡
4	A 5/19-3 限	歯・口腔の構造②	唾液腺・口腔の発生・歯の石灰化・萌出・形成時期・形成異常	唾液腺の種類や働きについて説明できる。歯と口腔の形成及び発育について説明できる。	定岡
	B 5/19-1 限				定岡
5	A 5/26-3 限	歯・口腔の構造③	口腔機能(咀嚼・発音)・全身の健康との関連性	口腔の機能や全身の健康との関連性について説明できる。	定岡
	B 5/26-1 限				定岡
6	A 6/2-3 限	歯・口腔の不潔	歯・口腔の付着物	プラーク、歯石の形成について説明できる。	定岡
	B 6/2-1 限				定岡
7	A 6/9-3 限	歯科疾患の疫学①	歯科疾患の疫学的特性	歯科疾患の疫学的特性について説明できる。	定岡
	B 6/9-1 限				定岡
8	A 6/16-3 限	歯科疾患の疫学①	歯科疾患の疫学的特性	歯科疾患の疫学的特性について説明できる。	定岡
	B 6/16-1 限				定岡
9	A 6/23-3 限	う蝕の予防①	う蝕の基礎知識	う蝕発生要因、機序、リスク評価を説明できる。	定岡
	B 6/23-1 限				定岡
10	A 6/30-3 限	う蝕の予防②	う蝕の予防方法	う蝕発生要因に対応した予防法を説明できる。	定岡
	B 6/30-1 限				定岡
11	A 7/7-3 限	う蝕の予防③	歯とフッ化物	フッ化物によるう蝕予防について説明できる。	定岡
	B 7/7-1 限				定岡
12	A 7/14-3 限	歯周疾患の予防①	歯周疾患の基礎知識	歯周疾患の分類、発生要因、機序、進行を説明できる。	定岡
	B 7/14-1 限				定岡
13	A 7/21-3 限	歯周疾患の予防②	歯周疾患の予防方法	歯周疾患の予防方法を説明できる。	定岡
	B 7/21-1 限				定岡
14	A 8/25-3 限	その他の疾患の予防	口臭・不正咬合の予防	口臭の原因と予防について説明できる。	定岡
	B 8/25-1 限				定岡
15	A 9/1-3 限	ライフステージごとの口腔保健管理	各年代の口腔保健管理	各年代の口腔保健管理について説明できる。	定岡
	B 9/1-1 限				定岡

科目名			担当教員		
口腔衛生学Ⅱ			定岡直		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎として歯科衛生統計について学ぶ。			
教科書		(1～9, 15回)歯科衛生学シリーズ『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』(医歯薬出版) (10～14回)歯科衛生士テキスト『口腔衛生学－口腔保健統計を含む－第4版』(学建書院)			
成績評価		受講態度および定期試験による			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:定岡直			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎となる歯科衛生統計について講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/5-2限	地域保健・公衆衛生①	地域歯科保健の概念・組織	地域歯科保健サービスの現状、組織(保健所・市町村保健センター)の仕組みについて説明できる。	定岡
	B 10/5-1限				定岡
2	A 10/19-2限	地域保健・公衆衛生②	8020運動、健康日本21、歯科口腔保健法、口腔保健福祉関連施策	8020運動、健康日本21、歯科口腔保健法の概要や数値目標を説明できる。	定岡
	B 10/19-1限				定岡
3	A 10/26-2限	母子(歯科)保健	母子保健 小児保健 母子歯科保健	母子手帳の交付、妊産婦歯科健康診査、1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査を説明できる。	定岡
	B 10/26-1限				定岡
4	A 11/2-2限	学校(歯科)保健	学校保健活動と組織 学校歯科保健	1. 学校保健教育、保健管理について説明できる。 2. 学校歯科健康診断と事後措置を説明できる。	定岡
	B 11/2-1限				定岡
5	A 11/9-2限	成人(歯科)保健	成人保健対策 成人期の歯科保健	1. 成人(歯科)保健対策について説明できる。 2. 代表的な生活習慣病について説明できる。	定岡
	B 11/9-1限				定岡
6	A 11/16-2限	産業(歯科)保健	職業性疾病 産業保健管理 産業保健活動	1. 労働衛生の3管理、THPについて説明できる。 2. 特殊健康診断・歯の酸蝕症や摩耗症を説明できる。	定岡
	B 11/16-1限				定岡
7	A 11/27-2限	高齢者(歯科)保健①	高齢者保健制度と関連法規	後期高齢者保険制度について説明できる。	定岡
	B 11/30-1限				定岡
8	A 11/30-2限	高齢者(歯科)保健②	介護保険制度	介護保険制度について説明できる。	定岡
	B 12/4-1限				定岡
9	A 12/7-2限	精神保健 災害時の歯科保健 国際保健	精神保健・医療・福祉 大規模災害時の保健医療対策と 歯科保健活動 世界の健康問題 国際協力	1. 精神保健・福祉について説明できる。 2. 災害時の歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 国際協力の仕組みを説明できる。	定岡
	B 12/7-1限				定岡
10	A 12/14-2限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計①	疫学の方法 歯科疾患の指標	1. 基本的な研究方法を説明できる。 2. 歯科疾患の指標(DMFT、CPIなど)を説明できる。	定岡
	B 12/14-1限				定岡
11	A 12/21-2限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計②	歯科疾患の疫学	う蝕、歯周疾患の疫学的特徴を説明できる。	定岡
	B 12/21-1限				定岡
12	A 1/18-2限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計③	衛生統計の基礎①	1. 疫学調査の進め方を説明できる。 2. 基本統計量(代表値、散布度、相関)について説明できる。	定岡
	B 1/18-1限				定岡
13	A 1/25-2限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計④	衛生統計の基礎②	1. 推定について説明できる。 2. 検定について説明できる。 3. 基本的な検定手法を説明できる。	定岡
	B 1/25-1限				定岡
14	A 2/1-2限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計⑤	保健統計調査	代表的な国家統計、特に歯科疾患実態調査の近年の動向を説明できる。	定岡
	B 2/1-1限				定岡
15	A 2/8-2限	まとめ・予備	まとめ・予備	予備。これまでの授業のまとめ。	定岡
	B 2/8-1限				定岡

科目名			担当教員		
衛生学・公衆衛生学			山賀孝之		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		人々の健康を保持増進するための社会医学を理解し、包括的な問題解決方法の考え方を習得する。口腔衛生学を学ぶのに必要な知識を整理する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学』(医歯薬出版)			
成績評価		受講態度および定期試験により判定する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:山賀孝之			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、人々の健康を保持増進するための社会医学を講義し、包括的な問題解決方法の考え方を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/5-3 限	総論	健康の概念 予防医学の概念	1. 健康と疾病の概念、プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 2. Leavell & Clark の疾病の自然史を説明できる。	山賀
	B 10/5-2 限				山賀
2	A 10/19-3 限	疫学①	疫学の定義および概要	1. 疾病や異常の発生要因を説明できる。 2. 疾病の発生や流行状態を表す指標を説明できる。	山賀
	B 10/19-2 限				山賀
3	A 10/26-3 限	疫学②	疫学の方法①	疫学の方法(記述疫学, 分析疫学, 介入研究)を説明できる。	山賀
	B 10/26-2 限				山賀
4	A 11/2-3 限	疫学③	疫学の方法②	1. EBM について説明できる。 2. スクリーニング検査について説明できる。 3. リスク指標について説明できる。	山賀
	B 11/2-2 限				山賀
5	A 11/9-3 限	人口	人口の動向 人口動態統計	1. わが国および世界の人口動向について説明できる。 2. 人口動態統計(出生, 死亡などに関する統計指標とわが国の動向)を説明できる。	山賀
	B 11/9-2 限				山賀
6	A 11/16-3 限	健康と環境①	環境の概念 空気・水と健康	1. 環境の概念について説明できる。 2. 空気の正常成分・異常成分について説明できる。 3. 温熱環境について説明できる。 4. 上水道・下水道および水質基準について説明できる。	山賀
	B 11/16-2 限				山賀
7	A 11/27-3 限	健康と環境②	放射線と健康 住居・衣服と健康	1. 非電離放射線, 電離放射線の健康への影響について説明できる。 2. 住環境および衣服と健康の関係について説明できる。	山賀
	B 11/30-2 限				山賀
8	A 11/30-3 限	健康と環境③	地球環境の変化と健康への影響 公害と健康への影響	1. 地球温暖化, 酸性雨, オゾン層破壊について説明できる。 2. 環境基本法の定める七公害について説明できる。	山賀
	B 12/4-2 限				山賀
9	A 12/7-3 限	健康と環境④	廃棄物処理	1. 廃棄物処理の概要について説明できる。 2. 医療機関における感染性廃棄物の処理について説明できる。	山賀
	B 12/7-2 限				山賀
10	A 12/14-3 限	感染症①	感染症の成り立ち	1. 感染と発病の概念について説明できる。 2. 感染成立の三要因について説明できる。	山賀
	B 12/14-2 限				山賀
11	A 12/21-3 限	感染症②	感染症の予防	1. 感染症法の理念と同法に基づく類型について説明できる。 2. 主な感染症法の動向について説明できる。	山賀
	B 12/21-2 限				山賀
12	A 1/18-3 限	食品と健康①	食品保健	食中毒の疫学と分類について説明できる。	山賀
	B 1/18-2 限				山賀
13	A 1/25-3 限	食品と健康②	栄養と健康	1. 日本人の食事摂取基準について説明できる。 2. 食生活指針について説明できる。 3. 国民栄養の現状と問題点について説明できる。	山賀
	B 1/25-2 限				山賀
14	A 2/1-3 限	まとめ①	まとめ	予備。これまでの授業のまとめ。	山賀
	B 2/1-2 限				山賀
15	A 2/8-3 限	まとめ②	まとめ	予備。これまでの授業のまとめ。	山賀
	B 2/8-2 限				山賀

科目名			担当教員		
歯科衛生士概論			島田陽子、金銅英二、中島香奈子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)	歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ『歯科衛生学概論』(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験結果およびプレゼンテーションを評価対象とする。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士: 島田陽子、中島香奈子 歯科医師: 金銅英二				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として実務経験のある教員および歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士の業務と社会的役割を講義し、それぞれが目指す歯科衛生士像を明確にさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/15-1 限	概説	歯科衛生士の業務	1. 歯科衛生士の定義を述べることができる。 2. 歯科衛生業務の構成要素を説明できる。 3. 「健康」について述べることができる。	島田
	B 4/15-3 限				島田
2	A 4/22-1 限	歯科医療	歯科医療保健を支えるもの	1. 歯科医療の目標を説明できる。 2. 歯科医療の内容と特異性を列挙できる。 3. 治療方法から見た歯科医療の分野を説明できる。	金銅
	B 4/22-3 限				金銅
3	A 5/13-1 限	歯科衛生士の歴史	歯科衛生の誕生～展望	1. 日本の歯科衛生の誕生について概説できる。 2. 歯科衛生士の歴史について概説できる。	島田
	B 5/13-3 限				島田
4	A 5/20-1 限	科学的思考	歯科衛生活動のための理論	1. 予防の概念を説明できる。 2. EBM、批判的思考を説明できる。 3. 保健行動の理論を説明できる。	島田
	B 5/20-3 限				島田
5	A 5/27-1 限	歯科衛生士法	歯科衛生士法と歯科衛生業務	1. 業務独占、名称独占を説明できる。 2. 歯科衛生士の法的義務を説明できる。 3. 歯科衛生業務に関連する法規を概説できる。	島田
	B 5/27-3 限				島田
6	A 6/3-1 限	医療倫理 1	歯科衛生士と医療倫理	1. 倫理の必要性について説明できる。 2. 医の倫理と患者の権利について概説できる。 3. 歯科衛生と倫理について説明できる。	中島
	B 6/3-3 限				中島
7	A 6/10-1 限	医療倫理 2	インフォームドコンセントと患者中心の医療	1. インフォームドコンセントを説明できる。 2. インフォームドチョイスを説明できる。 3. セカンドオピニオンを説明できる。 4. 患者中心の医療において歯科衛生士としてとるべき倫理行動を述べることができる。	中島
	B 6/10-3 限				中島
8	A 6/17-1 限	歯科衛生過程	歯科衛生過程の活用	1. 歯科衛生過程を活用する意義を説明できる。 2. 歯科衛生過程を概説できる。 3. 歯科衛生過程のプロセス、構成要素を列挙できる。 4. POS、SOAPを概説できる。	島田
	B 6/17-3 限				島田
9	A 6/24-1 限	安全管理	医療におけるリスクマネジメント	1. 安全管理の必要性を説明できる。 2. ヒューマンエラーについて説明できる。 3. 安全管理についての法的責任について説明できる。	島田
	B 6/24-3 限				島田
10	A 7/1-1 限	患者対応 1	接遇の基礎(敬語)	1. 尊敬語・謙譲語・丁寧語で表現できる。 2. 患者対応に適した言葉遣いができる。	島田
	B 7/1-3 限				島田
11	A 7/8-1 限	患者対応 2	ホスピタリティー	1. 患者満足度を説明できる。 2. ホスピタリティーを概説できる。	島田
	B 7/8-3 限				島田
12	A 7/15-1 限	歯科衛生士の活動	歯科衛生士の活動	1. 就業歯科衛生士数の推移を説明できる。 2. 歯科医療従事者の就業者数の推移を概説できる。 3. 歯科衛生活動の場を説明できる。	島田
	B 7/15-3 限				島田
13	A 8/26-1 限	チーム医療	1. 多職種連携 2. 海外における歯科衛生士	1. チーム医療について概説できる。 2. NSTについて説明できる。 3. 海外における歯科衛生士の現状を概説できる。	島田
	B 8/26-3 限				島田
14	A 9/2-1 限	歯科衛生士業務の展開	目標とする歯科衛生士像を考える	1. 自分の目指す歯科衛生士像をプレゼンテーションできる。	島田
	B 9/2-3 限				島田
15	A 9/2-2 限				島田
	B 9/2-4 限				島田

科目名			担当教員		
歯科予防処置論Ⅰ			竹岡亜紀		
			〔授業補助〕 島田陽子、三村杏奈、高山きよ江 中島香奈子、栗原奈菜		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験の結果および課題の提出状況と内容を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：竹岡亜紀			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/15-3 限	インスツルメント	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	竹岡
	B 4/15-2 限				竹岡
2	A 4/21-2 限	歯科予防処置論概説	1. 歯科衛生士の業務内容 2. 歯科予防処置の種類・目的	1. 歯科衛生士が行う主な業務を列挙できる。 2. 歯科予防業務の定義を説明できる。 3. 歯科予防処置を目的別に分類し説明できる。	竹岡
	B 4/21-3 限				竹岡
3	A 4/22-3 限	基礎知識 1	1. 歯周組織 2. 口腔組織の健康像 3. 歯面付着物・沈着物の分類	1. 歯周組織の名称を列挙できる。 2. 口腔組織の特徴を説明できる。 3. 歯面付着物・沈着物を列挙できる。	竹岡
	B 4/22-2 限				竹岡
4	A 4/28-2 限	基礎知識 2	1. 歯面付着物・沈着物の特徴 2. プラークの分類・特徴 3. 歯石の分類・特徴	1. 歯面付着物・沈着物の特徴を説明できる。 2. プラークの分類・特徴を説明できる。 3. 歯石の分類・特徴を説明できる。	竹岡
	B 4/28-3 限				竹岡
5	A 5/12-2 限	基礎知識 3	1. 歯周疾患の分類・特徴 2. ポケットの分類・特徴 3. 歯周疾患の全身的因子 4. 歯周疾患の局所的因子	1. 歯周疾患の分類・特徴を説明できる。 2. ポケットの分類・特徴を説明できる。 3. 歯周疾患の全身的因子・局所的因子を列挙できる。	竹岡
	B 5/12-3 限				竹岡
6	A 5/13-3 限	基礎知識 4	1. プラーク増加因子 2. 歯周疾患の進行 3. 基礎項目の問題演習	1. プラーク増加因子を列挙できる。 2. 歯周組織の病的変化を説明できる。 3. 歯科予防処置の基礎項目を理解できる。	竹岡
	B 5/13-2 限				竹岡
7	A 5/19-2 限	プロービング 1	1. プローブの使用目的 2. プローブの種類・特徴①	1. プローブの使用目的を説明できる。 2. プローブの種類を列挙できる。	竹岡
	B 5/19-3 限				竹岡
8	A 5/20-3 限	プロービング 2	1. プローブの種類・特徴② 2. プローブの把持法 3. プローブ操作の原則	1. プローブの特徴を説明できる。 2. プローブの把持法を説明できる。 3. 操作の原則を説明できる。	竹岡
	B 5/20-2 限				竹岡
9	A 5/26-2 限	プロービング 3	1. 測定部位と操作時の注意 2. プロービング値の記入法 3. ポケット測定実習（顎模型）	1. 操作の注意事項を説明できる。 2. 原則を守りポケットを測定できる。 3. 測定値を正しく記録できる。	竹岡
	B 5/26-3 限				竹岡
10	A 5/27-3 限	手用スクレーパー 鎌型スクレーパー1	1. 手用スクレーパーの種類・特徴 2. 鎌型スクレーパーの使用目的 3. 鎌型スクレーパーの種類・特徴	1. 手用スクレーパーの種類・特徴を説明できる。 2. 鎌型スクレーパーの使用目的を説明できる。 3. 鎌型スクレーパーの種類・特徴を説明できる。	竹岡
	B 5/27-2 限				竹岡
11	A 6/2-2 限	鎌型スクレーパー2	1. 鎌型スクレーパーの把持・操作法 2. 操作時の注意・原則	1. 鎌型スクレーパーの把持・操作法を説明できる。 2. 操作の注意事項と4原則を説明できる。	竹岡
	B 6/2-3 限				竹岡
12	A 6/3-3 限	鎌型スクレーパー 模型実習説明	1. ポジション・姿勢 2. 把持・固定法 3. 手腕の動き（机上練習）	1. 部位に適したポジション・姿勢を説明できる。 2. 把持・固定法を説明できる。 3. 手腕の動きを説明できる。 4. 手用スクレーパーの基本操作を説明できる。	竹岡
	B 6/3-2 限				竹岡

13	A 6/9-2 限	鎌型スケーラー 模型実習 1	1. マネキンへの模型装着法 2. 前腕回転運動(左半分①)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスケーラー操作ができる。	竹岡
	B 6/9-3 限				竹岡
14	A 6/10-3 限	鎌型スケーラー 模型実習 2	前腕回転運動(左半分②)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスケーラー操作ができる。	竹岡
	B 6/10-2 限				竹岡
15	A 6/16-2 限	鎌型スケーラー 模型実習 3	1. 前腕回転運動(左半分③) 2. 前腕回転運動(右半分①)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスケーラー操作ができる。 3. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 6/16-3 限				竹岡
16	A 6/23-2 限	鎌型スケーラー 模型実習 4	1. 前腕回転運動(左半分④) 2. 前腕回転運動(右半分②)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスケーラー操作ができる。 3. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 6/17-2 限				竹岡
17	A 6/24-3 限	鎌型スケーラー 模型実習 5	手指屈伸運動①	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスケーラー操作ができる。 3. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 6/24-2 限				竹岡
18	A 6/30-2 限	鎌型スケーラー 模型実習 6	手指屈伸運動②	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスケーラー操作ができる。 3. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 6/30-3 限				竹岡
19	A 7/1-3 限	鋭匙型スケーラー-1	1. 鋭匙型スケーラーの使用目的 2. 鋭匙型スケーラーの種類・特徴①	1. 鋭匙型スケーラーの使用目的を説明できる。 2. 鋭匙型スケーラーの種類を列挙できる。	竹岡
	B 7/1-2 限				竹岡
20	A 7/7-2 限	鋭匙型スケーラー-2	1. 鋭匙型スケーラーの種類・特徴② 2. 鋭匙型スケーラーの把持・操作法 3. 操作時の注意	1. 鋭匙型スケーラーの種類・特徴を説明できる。 2. 鋭匙型スケーラーの把持法・操作法を説明できる。 3. 操作の注意事項を説明できる。	竹岡
	B 7/7-3 限				竹岡
21	A 7/8-3 限	マネキン実習説明 1	1. 基本姿勢、ポジション 2. 探針操作、ミラー操作 ・使用目的 ・操作時の注意	1. 基本姿勢とポジションを説明できる。 2. 探針の使用目的を説明できる。 3. 探針操作の注意事項を説明できる。 4. ミラーの使用目的を説明できる。 5. ミラー操作の注意事項を説明できる。	竹岡
	B 7/8-2 限				竹岡
22	A 7/14-2 限	マネキン実習説明 2	1. マネキンの取り扱い 2. 探針操作、ミラー操作 3. 操作表作成(宿題)	1. 適切にマネキンを取り扱うことができる。 2. ミラー視により探針を操作できる。 3. 鋭匙型スケーラーの操作表を作成できる。	竹岡
	B 7/14-3 限				竹岡
23	A 7/15-3 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 1	スケーリング実習① (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。。	竹岡
	B 7/15-2 限				竹岡
24	A 7/21-2 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 2	スケーリング実習② (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。。	竹岡
	B 7/21-3 限				竹岡

科目名			担当教員		
歯科予防処置論Ⅱ			竹岡亜紀		
			〔授業補助〕 島田陽子、三村杏奈、高山きよ江 中島香奈子、栗原奈菜		
学 年	開講学期	単 位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
1	後期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験の結果および課題の提出状況と内容を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科衛生士：竹岡亜紀			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 10/5-1 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 3	スケーリング実習③ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/5-3 限				竹岡
2	A 10/6-3 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 4	スケーリング実習④ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/6-1 限				竹岡
3	A 10/13-3 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 5	スケーリング実習⑤ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/13-1 限				竹岡
4	A 10/19-1 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 6	スケーリング実習⑥ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/19-3 限				竹岡
5	A 10/20-3 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 7	スケーリング実習⑦ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/20-1 限				竹岡
6	A 10/26-1 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 8	スケーリング実習⑧ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/26-3 限				竹岡
7	A 10/27-3 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 9	スケーリング実習⑨ (運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 部位に適したスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 10/27-1 限				竹岡
8	A 11/2-1 限	鋭匙型スケーラー マネキン実習 10	スケーリング実習⑩ (運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 部位に適したスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 11/2-3 限				竹岡
9	A 11/9-1 限	鎌型スケーラー マネキン実習 (復習)1	スケーリング実習①	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 部位に適したスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	竹岡
	B 11/9-3 限				竹岡

10	A 11/10-3 限	鎌型スケーラー マネキン実習 (復習)2	スケーリング実習②	<ol style="list-style-type: none"> <li>マネキン実習の準備ができる。</li> <li>部位に適したポジションを設定できる。</li> <li>部位に適したスケーラー操作ができる。</li> <li>適切なミラー操作ができる。</li> <li>取り残しなく除去できる。</li> </ol>	竹岡
	B 11/10-1 限				竹岡
11	A 11/16-1 限	鎌型スケーラー 鋭匙型スケーラー 実技試験 1	スケーリング実技試験① (部位指定)	<ol style="list-style-type: none"> <li>マネキン実習の準備ができる。</li> <li>部位に適したポジションを設定できる。</li> <li>指定部位のスケーラー操作ができる。</li> <li>適切なミラー操作ができる。</li> <li>取り残しなく除去できる。</li> <li>各段階で作業状況の報告ができる。</li> </ol>	竹岡
	B 11/16-3 限				竹岡
12	A 11/17-3 限	鎌型スケーラー 鋭匙型スケーラー 実技試験 2	スケーリング実技試験② (部位指定)	<ol style="list-style-type: none"> <li>マネキン実習の準備ができる。</li> <li>部位に適したポジションを設定できる。</li> <li>指定部位のスケーラー操作ができる。</li> <li>適切なミラー操作ができる。</li> <li>取り残しなく除去できる。</li> <li>各段階で作業状況の報告ができる。</li> </ol>	竹岡
	B 11/17-1 限				竹岡
13	A 11/24-3 限	超音波スケーラー-1	<ol style="list-style-type: none"> <li>使用目的</li> <li>原理と構造</li> <li>利点・欠点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>超音波スケーラーの使用目的を説明できる。</li> <li>原理と構造を説明できる。</li> <li>手用スケーラーと比較して利点・欠点を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 11/24-1 限				竹岡
14	A 11/27-1 限	超音波スケーラー-2	<ol style="list-style-type: none"> <li>適応症・禁忌症</li> <li>超音波スケーラーの操作法</li> <li>操作時の注意</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>適応症・禁忌症を列挙できる。</li> <li>操作の注意事項を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 11/30-3 限				竹岡
15	A 11/30-1 限	超音波スケーラー-3	<ol style="list-style-type: none"> <li>操作法の復習</li> <li>模型実習</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>模型実習の準備ができる。</li> <li>原則を守り操作できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/1-1 限				竹岡
16	A 12/1-3 限	歯面研磨 1	<ol style="list-style-type: none"> <li>歯面研磨の目的</li> <li>歯面研磨器具の種類・特徴</li> <li>歯面研磨剤の使用目的</li> <li>歯面研磨剤の所要条件</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>歯面研磨の目的を説明できる。</li> <li>歯面研磨器具の種類・特徴を説明できる。</li> <li>研磨剤の使用目的を説明できる。</li> <li>研磨剤の所要条件を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/4-3 限				竹岡
17	A 12/7-1 限	歯面研磨 2 (PMTC)	<ol style="list-style-type: none"> <li>PMTC の定義・位置づけ</li> <li>PMTC の目的・効果</li> <li>PMTC の基本術式</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>PMTC の定義を説明できる。</li> <li>PMTC の目的・効果を説明できる。</li> <li>PMTC の術式を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/7-3 限				竹岡
18	A 12/8-3 限	歯面研磨 3	<ol style="list-style-type: none"> <li>歯面清掃器</li> <li>歯面研磨器具の操作法</li> <li>操作時の注意</li> <li>模型実習の手順</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>歯面清掃剤の種類を説明できる。</li> <li>歯面清掃器の基本操作を説明できる。</li> <li>歯面研磨の注意事項を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/8-1 限				竹岡
19	A 12/14-1 限	歯面研磨 4	<ol style="list-style-type: none"> <li>操作法の復習</li> <li>模型実習</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>模型実習の準備ができる。</li> <li>原則を守り操作できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/14-3 限				竹岡
20	A 12/15-3 限	う蝕予防法 1	<ol style="list-style-type: none"> <li>う蝕予防処置の種類 ・フッ化物歯面塗布法 ・フッ化ジアンミン銀塗布法 ・小窩裂溝填塞法</li> <li>フッ化物歯面塗布法① ・フッ化物の応用法 ・フッ化物製剤の種類・濃度</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>う蝕予防処置法の種類を列挙できる。</li> <li>フッ化物の応用法を説明できる。</li> <li>塗布用フッ化物製剤の種類と濃度を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/15-1 限				竹岡
21	A 12/21-1 限	う蝕予防法 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>フッ化物歯面塗布法② ・作用機序 ・安全性への配慮 ・術式</li> <li>その他のフッ化物製剤</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>塗布用フッ化物の作用機序を説明できる。</li> <li>フッ化物の毒性と急性中毒への対応を説明できる。</li> <li>フッ化物歯面塗布法(ゲル)の術式を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/21-3 限				竹岡
22	A 12/22-3 限	う蝕予防法 3	<ol style="list-style-type: none"> <li>フッ化ジアンミン銀塗布法 ・目的・適応 ・性状・特徴 ・取扱いの注意事項</li> <li>小窩裂溝填塞法 ・填塞材の種類 ・目的・適応 ・術式 ・取扱いの注意事項</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>フッ化ジアンミン銀塗布の目的・適応を説明できる。</li> <li>溶液の性状・特徴を説明できる。</li> <li>取扱いの注意事項と汚染時の対応を説明できる。</li> <li>填塞材の種類を列挙できる。</li> <li>小窩裂溝填塞の目的・適応を説明できる。</li> <li>小窩裂溝填塞の術式を説明できる。</li> <li>取扱いの注意事項を説明できる。</li> </ol>	竹岡
	B 12/22-1 限				竹岡

23	A 1/12-3 限	う蝕予防法 4 相互実習説明 1	1. フッ化物洗口法 ・応用法 ・洗口剤の種類・濃度 2. 相互実習 ・使用器材の名称・用途 ・清潔器材の取扱い ・問診法①	1. フッ化物洗口の応用法を説明できる。 2. 洗口剤の種類と濃度を列挙できる。 3. 相互実習使用器材の名称・用途を説明できる。 4. 器材の取扱い方法と注意事項を説明できる。 5. 環境整備、安全配慮の重要性を理解できる。 6. 問診内容と目的を理解できる。	竹岡
	B 1/12-1 限				竹岡
24	A 1/18-1 限	相互実習説明 2	相互実習 ・実習の注意事項 ・実習記録作成法 ・問診法②	1. 記録作成の意義・目的を理解できる。 2. 実習記録の記載法を理解できる。 3. 聞き取りによる問診を実施できる。	竹岡
	B 1/18-3 限				竹岡

科目名			担当教員		
<b>歯科保健指導論Ⅰ</b>			<b>島田陽子、三村杏奈</b> [授業補助] 竹岡亜紀、高山きよ江、中島香奈子、栗原奈菜		
			学年	開講学期	単位
1	前期	1	24	演習	○
授業の目的(GIO)		口腔保健の基礎を理解するために、口腔内に関心を持ち、歯科衛生士として必要な基礎項目を習得しながら、歯科保健指導に求められる知識・態度を身につける。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修： 歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験および課題の提出状況・結果を評価対象とする。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：島田陽子、三村杏奈			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、口腔に関心を持ち、口腔保健の基礎と他教科とのつながりを理解できるよう歯科衛生過程の基本を教育する。 歯科衛生士として歯科診療所勤務経験のある教員が、臨床での応用を見据えプラークコントロールの技術と歯科保健指導法の基本を教育する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/20-1 限	概論	歯科保健指導の概要	1. 授業の進めかたおよび注意事項を理解できる。 2. 歯科衛生士の定義を説明できる。 3. 歯科保健指導の定義を説明できる。 4. 健康の概念について説明できる。	島田
	B 4/20-3 限				島田
2	A 4/27-1 限	歯垢染色剤	1. 歯の付着物・沈着物 2. 歯垢染色剤	1. 歯の付着物・沈着物の種類を列挙できる。 2. 歯垢染色剤の種類と所要条件を説明できる。 3. 歯垢の染色方法を説明できる。 4. 歯垢を識別できる。	島田
	B 4/27-3 限				島田
3	A 5/11-1 限	口腔ケア用品 1	歯ブラシ	1. 歯ブラシの形態を説明できる。 2. 歯ブラシの保管と管理について説明できる。 3. 歯ブラシの交換時期を説明できる。	島田
	B 5/11-3 限				島田
4	A 5/18-1 限	ブラッシング法 1	歯ブラシの基本操作	1. 歯ブラシの持ち方を説明できる。 2. 適切なブラッシング圧を説明できる。 3. 歯ブラシの動かし方を説明できる。 4. 口腔全体を磨く順番を説明できる。 5. 各種ブラッシング法を列挙できる。	三村
	B 5/18-3 限				三村
5	A 5/25-1 限	ブラッシング法 2	1. 毛先を用いるブラッシング法 2. わき腹を用いるブラッシング法 3. 症例に合わせたブラッシング法	1. 各種ブラッシング法を列挙できる。 2. 操作法、適応、特徴を説明できる。 3. 各種ブラッシング法を顎模型上で操作できる。	三村
	B 5/25-3 限				三村
6	A 6/1-1 限	ブラッシング法 3	操作実習 1.ブラッシング法	1. ブラッシング法に合わせて歯ブラシを選択できる。 2. 自分自身のブラッシング圧を評価できる。 3. 各種ブラッシング法を口腔内で実践できる。 4. 各種ブラッシング法の特徴を考察できる。	三村
	B 6/1-3 限				三村
7	A 6/8-1 限	口腔ケア用品 2	1. 歯ブラシ以外の清掃用具 2. デンタルフロス 3. 歯間ブラシ 4. タフトブラシ	1. 歯ブラシ以外の清掃用具を列挙できる。 2. 歯ブラシ以外の清掃用具の特徴を説明できる。 3. デンタルフロスの使用目的を説明できる。 4. デンタルフロスの使用方法を説明できる。 5. 歯間ブラシの適応部位を説明できる。 6. 歯間ブラシの選択方法を説明できる。 7. 歯間ブラシの使用方を説明できる。 8. タフトブラシの適応部位を説明できる。 9. タフトブラシの使用方を説明できる。 10. 顎模型上で基本操作を実施できる。	三村
	B 6/8-3 限				三村

8	A 6/15-1 限	ブラッシング法 4	操作実習 1. スクラビング法 2. 補助的清掃用具	1. スクラビング法を口腔内で実践できる。 2. デンタルフロスを口腔内で操作できる。 3. タフトブラシを口腔内で操作できる。 4. 歯間ブラシを口腔内で操作できる。 5. 補助的清掃用具の特徴を比較できる。	三村
	B 6/15-3 限				三村
9	A 6/22-1 限	ブラッシング法 5	ブラッシングの為害作用	1. ブラッシングの目的を説明できる。 2. 為害作用の分類を説明できる。 3. 為害作用の特徴を説明できる。	島田
	B 6/22-3 限				島田
10	A 6/29-2 限	歯磨剤 1	歯磨剤	1. 法律上の分類を説明できる。 2. 成分とその作用を説明できる。 3. 基本的な使用法を説明できる。	島田
	B 6/29-2 限				三村
11	A 7/6-1 限	歯磨剤 2			島田
	B 7/6-3 限				島田
12	A 7/13-1 限	洗口剤	洗口剤	1. 法律上の分類を説明できる。 2. 成分とその作用を説明できる。 3. 基本的な使用法を説明できる。	島田
	B 7/13-3 限				島田

科目名			担当教員		
歯科保健指導論Ⅱ			島田陽子、三村杏奈		
			〔授業補助〕 竹岡亜紀、高山きよ江、中島香奈子、栗原奈菜		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	1	24	演習	○
授業の目的(GIO)	口腔保健の基礎を理解するために、口腔内に関心を持ち、歯科衛生士として必要な基礎項目を習得しながら、歯科保健指導に求められる知識を理解し、技術を体得する。				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修： 歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』（医歯薬出版）				
成績評価	定期試験、実技試験および課題の提出状況・結果を評価対象とする。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士：島田陽子、三村杏奈				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、口腔に関心を持ち、口腔保健の基礎と他教科とのつながりを理解できるよう歯科衛生過程の基本を教育する。 歯科衛生士として歯科診療所勤務経験のある教員が、臨床での応用を見据えプラークコントロールの技術と歯科保健指導法の基本を教育する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/21-1 限	口腔清掃状態の評価1	PCR	1. 数値化の目的を述べるができる。 2. PCRの対象歯・判定基準を説明できる。 3. PCRを算定できる。 4. PCRの目標値を説明できる。	島田
	B 10/21-3 限				島田
2	A 10/28-1 限	口腔清掃状態の評価2	1. OHI 2. OHI-S	1. OHIの対象歯・判定基準を説明できる。 2. OHI-Sの対象歯を説明できる。 3. OHI、OHI-Sを算定できる。	島田
	B 10/28-3 限				島田
3	A 11/4-1 限	口腔清掃状態の評価3	1. PII 2. PHP	1. PIIの対象歯・判定基準を説明できる。 2. 各被検歯のPII・個人のPIIを算定できる。 3. PHPの対象歯・判定基準を説明できる。 4. PHPを算定できる。	島田
	B 11/4-3 限				島田
4	A 11/11-1 限	対象把握1	グループワーク	1. 歯科保健指導に必要な患者情報をグループワークで列挙できる。	島田
	B 11/11-3 限				島田
5	A 11/18-1 限	対象把握2	患者からの情報収集	1. 情報収集の目的を述べるができる。 2. 情報収集の項目を列挙できる。 3. 口腔内観察の検査項目を列挙できる。	島田
	B 11/18-3 限				島田
6	A 11/25-1 限	保健行動支援1	保健行動支援のための基礎知識	1. 歯科保健指導に関わる理論と行動変容を説明できる。 2. 行動変容の手法を説明できる。	島田
	B 11/25-3 限				島田
7	A 12/2-1 限	保健行動支援2			島田
	B 12/2-2 限				島田
8	A 12/9-1 限	動機付け	動機付け	1. 動機付けの意味を説明できる。 2. 動機付けの導入方法を説明できる。	島田
	B 12/9-3 限				島田
9	A 12/16-1 限	口腔清掃指導法1	媒体の応用 対話時のポジション	1. 媒体の種類を列挙できる。 2. 媒体の特徴を説明できる。 3. 媒体の効果を説明できる。 4. TBIの定義を述べるができる。 5. 伝達の方法、話の組み立てを説明できる。 6. 対話時における留意点を説明できる。 7. 対話に適したポジションを説明できる。 8. グループで媒体の使用方法を検討できる。	三村
	B 12/16-3 限				三村

10	A 1/13-1 限	口腔清掃指導法 2	口腔清掃指導 相互実習 スクラビング法 デンタルフロス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対話時に適したポジションを工夫できる。</li> <li>2. コミュニケーションを工夫し、対話できる。</li> <li>3. 対話時における環境に配慮できる。</li> <li>4. 媒体を応用した指導法を工夫できる。</li> <li>5. スクラビング法をわかりやすく説明できる。</li> <li>6. 部位に応じた媒体の見せ方を工夫できる。</li> <li>7. デンタルフロス・指巻き法をわかりやすく説明できる。</li> <li>8. 患者のブラッシングおよびフロッシング技術を評価できる。</li> <li>9. グループで各々の課題および改善策を検討できる。</li> </ol>	三村
	B 1/13-3 限				三村
11	A 1/20-1 限	口腔清掃指導法 3			三村
	B 1/20-3 限				三村
12	A 1/27-1 限	口腔清掃指導法 4			三村
	B 1/27-3 限				三村

科目名			担当教員		
<b>歯科診療補助論 I</b>			<b>三村杏奈、高山きよ江、黒岩昭弘</b> [授業補助] 竹岡亜紀、中島香奈子、島田陽子、栗原奈菜		
			学年	開講学期	単位
1	前期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)		歯科材料に対する関心を持ち、正しく取り扱うための知識・技術・態度を習得する。また、感染予防の意義、方法を学び、安全な歯科診療に必要な知識・技術・態度を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ:『歯科診療補助論 第2版』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ:『歯科機器』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ:『歯科材料』(医歯薬出版) 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック (クインテッセンス出版)			
成績評価		定期試験			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士:三村杏奈、高山きよ江 歯科医師:黒岩昭弘			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として実務経験のある教員が、医療職として基本となる身だしなみや感染予防対策、歯科材料の知識と取り扱い方法を教え、臨床で多用される歯科材料の取り扱いと歯科医師と共同して歯科治療を行うための技術と態度を身に付けさせる。 歯科医師として病院勤務している教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話題も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持ち主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/15-2 限	概説	歯科診療補助における歯科衛生士の役割	1. 歯科衛生士の業務について概説できる。 2. 補助と介助の違いを述べることができる。 3. 法的責任について述べることができる。 4. 基礎実習に対する心構えをもつことができる。 5. 診療補助における歯科衛生士の役割を列挙できる。	三村
	B 4/15-1 限				三村
2	A 4/21-1 限	器材拭き ガーゼ作製	1. 身だしなみ 2. 実習に必要な器材拭きガーゼの作製	1. 身だしなみを整え、実習に臨むことができる。 2. 器材拭きを指示通りに作製することができる。 3. 協力し、助け合いながら作製できる。	三村
	B 4/21-2 限				三村
3	A 4/22-2 限	感染予防 1	1. 感染症と感染予防対策 2. 手指衛生(手指消毒)	1. 感染と感染症の違いを説明できる。 2. 感染予防の3原則を説明できる。 3. 手指衛生の目的を説明できる。 4. 手指衛生の分類を説明できる。 5. 手指衛生の手順を説明できる。 6. 手指衛生を実施できる。 7. 手指衛生の問題点を考察できる。	高山
	B 4/22-1 限				高山
4	A 4/28-1 限	衛生材料 1	綿球の作製 1) 洗浄用綿球 2) 拭掃用綿球 3) 塗布用綿球	1. 衛生材料について説明できる。 2. 用途、種類について説明できる。 3. 作製方法について説明できる。 4. 作製技術を習得できる。	三村
	B 4/28-2 限				三村
5	A 5/12-1 限	衛生材料 2	ロールワッテ・ブローチ綿栓	1. 歯の構造とう蝕の程度について説明できる。 2. 簡易防湿について概説できる。 3. ブローチの構造について説明できる。 4. ブローチの用途について説明できる。 5. 作製技術を習得できる。	三村
	B 5/12-2 限				三村
6	A 5/13-2 限	アルジネート印象材 1	1. 概形印象採得の基礎知識 2. 実習 1) スパチュラの把持 2) ラバーボウルの把持 3) スパチュラの操作 4) 計量	1. 練和に必要な器材を列挙できる。 2. 印象採得方法と手順を説明できる。 3. テクニコールボンド®について説明できる。 4. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 5. 印象面の処理方法について説明できる。 6. スパチュラとラバーボウルを正しく把持できる。 7. ラバーボウルの内面とスパチュラの彎曲を合わせてスパチュラを操作できる。 8. 粉末と水を手順通りに計量できる。 9. 練和器具を清掃できる。	三村
	B 5/13-1 限				三村

7	A 5/19-1 限	アルジネート印象材 2	1. 練和操作 2. 気泡抜き	1. アルジネート印象材の練和操作ができる。 2. 練和器具を清掃できる。	三村
	B 5/19-2 限				三村
8	A 5/20-2 限	アルジネート印象材 3	1. 練和(2杯) 2. トレーへの盛り付け方法	1. 練和技術の向上ができる。 2. 設定時間内に練和できる。 3. トレーの保管、管理について説明できる。 4. トレーへの盛り付け方法を説明できる。	三村
	B 5/20-1 限				三村
9	A 5/26-1 限	アルジネート印象材 4	1. 回転トレーへの盛り付け 2. 上顎トレーへの盛り付け 3. 下顎トレーへの盛り付け	1. 回転トレーへの盛り付けることができる。 2. 上顎トレーへ盛り付けることができる。 3. 下顎トレーへ盛り付けることができる。 4. 練和技術の向上ができる。	三村
	B 5/26-2 限				三村
10	A 5/27-2 限	寒天印象材 1	寒天印象材の取り扱い	1. 寒天印象材の種類を列挙できる。 2. 寒天印象材の性質を説明できる。 3. 寒天印象材の取り扱い方法を説明できる。 4. 寒天コンディショナーと冷水式トレーの取り扱い方法を説明できる。 5. 寒天シリンジに寒天カートリッジを装填できる。	三村
	B 5/27-1 限				三村
11	A 6/2-1 限	寒天印象材 2	寒天・アルジネート 連合印象採得	1. 寒天・アルジネート印象採得における使用器材を準備できる。 2. 採得手順、方法を説明できる。 3. 顎模型上で連合印象採得ができる。 4. 器具やトレーの受け渡しができる。 5. 印象体を評価できる。 6. 実技試験の流れを確認できる。	三村
	B 6/2-2 限				三村
12	A 6/3-2 限	歯科材料の 基礎知識	1. 歯科材料と歯科衛生士 2. 所要性質と基本的性質	1. 歯科衛生士になぜ歯科材料の知識が必要かを説明できる。 2. 歯科材料の基本的性質を説明できる。 3. 問いかけに反応できる。	黒岩
	B 6/3-1 限				黒岩
13	A 6/9-1 限	歯科材料1 印象材総論	1. はじめに 2. 印象材の種類と用途 3. 印象材の一般的性質	1. 歯科臨床における印象採得の目的を説明できる。 2. 印象材の分類を説明できる。 3. 印象材の種類を説明できる。 4. 印象採得時の印象材の変形の重要性を説明できる。 5. 問いかけに反応できる	黒岩
	B 6/9-2 限				黒岩
14	A 6/10-2 限	歯科材料2 印象材各論	1. ハイドロコロイド系印象材 1-1. アルジネート印象材 1-2. 寒天印象材 2. ゴム質印象材 1) 縮合型シリコーンゴム印象材 2) 付加型シリコーンゴム印象材 3) ポリエーテルゴム印象材 4) ポリサルファイドゴム印象材 3. 酸化亜鉛ユージノール印象材 4. モデリングコンパウンド 5. 印象用石膏 6. 機能印象材	各種印象材の組成と特徴を理解する。 1. 組成・基本的性質を説明できる。 2. 用途を説明できる。 3. 硬化機構を説明できる。 4. 硬化時間を説明できる。 5. 特徴を説明できる。 6. 問いかけに反応できる。	黒岩
	B 6/10-1 限				黒岩
15	A 6/16-1 限	歯科材料3 模型材	模型用石膏	模型用石膏の硬化反応と特性について理解する。 1. 石膏の種類を説明できる。 2. 石膏の用途を説明できる。 3. 石膏の一般的性質を説明できる。 4. 問いかけに反応できる。	黒岩
	B 6/16-2 限				黒岩
16	A 6/17-2 限	模型材 石膏	1. 石膏模型材 2. 実習	1. 取扱い方法と注意点を説明できる。 2. 必要器材を列挙できる。 3. 印象採得～模型作製の手順を説明できる。 4. 歯科用石膏の練和ができる。 5. 印象体へ石膏泥の注入ができる。 6. 石膏の反応熱を確認できる。 7. 模型の保管方法を説明できる。 8. 器材を丁寧に使用できる。	三村
	B 6/23-2 限				三村
17	A 6/17-3 限	模型材 石膏	1. 石膏模型材 2. 実習	1. 取扱い方法と注意点を説明できる。 2. 必要器材を列挙できる。 3. 印象採得～模型作製の手順を説明できる。 4. 歯科用石膏の練和ができる。 5. 印象体へ石膏泥の注入ができる。 6. 石膏の反応熱を確認できる。 7. 模型の保管方法を説明できる。 8. 器材を丁寧に使用できる。	三村
	B 6/23-3 限				三村

18	A 6/24-2 限	合成ゴム質印象材 1	1. 付加型シリコーンゴム印象材(パテタイプ) 2. 積層2回連合印象法(1次印象)	1. パテタイプの用途を説明できる。 2. パテタイプのねつ和ができる。 3. 連合印象法の目的を説明できる。 4. 顎模型上で積層2回連合印象(1次印象)ができる。	三村
	B 6/24-1 限				三村
19	A 6/30-1 限	合成ゴム質印象材 2	付加型シリコーンゴム印象材 1)インジェクションタイプ 2)レギュラータイプ	1. 必要器材を列挙できる。 2. 器具・器材を正しく操作できる。 3. インジェクションタイプを練和できる。 4. 硬化時間の調整ができる。	三村
	B 6/30-2 限				三村
20	A 7/1-2 限	合成ゴム質印象材 3	1. シリンジの取り扱い 1)メタル製シリンジ 2)プラスチックシリンジ 2. 積層2回連合印象法(2次印象)	1. 印象用シリンジの目的を説明できる。 2. メタル製シリンジの取り扱いを説明できる。 3. プラスチックシリンジの取り扱いを説明できる。 4. プラスチックシリンジへの填入ができる。 5. 2次印象の必要器材を列挙できる。 6. 顎模型上で積層2回連合印象(2次印象)ができる。	三村
	B 7/1-1 限				三村
21	A 7/7-1 限	合成ゴム質印象材 4	1. カートリッジディスペンサーの取り扱い 2. 個人トレーへの盛り付け	1. 個人・個歯トレーの用途を説明できる。 2. アドヒーシブの使用方法を説明できる。 3. カートリッジディスペンサーの各部名称を説明できる。 4. カートリッジディスペンサーの取り扱いができる。 5. 個人トレーへの盛り付けができる。 6. 積層1回連合印象の手順を説明できる。 7. 合成ゴム質印象材の基礎知識を整理できる。	三村
	B 7/7-2 限				三村
22	A 7/8-2 限	その他の印象材	1. 酸化亜鉛ユージノール印象材 2. モデリングコンパウンド 3. 印象用石膏 4. 機能印象材	1. 各印象材の性質を説明できる。 2. 各印象材の取り扱い方法を説明できる。 3. ウォーターバスの使用方法を説明できる。	三村
	B 7/8-1 限				三村
23	A 7/14-1 限	感染予防 2	1. 標準予防策 2. 歯科医療における感染予防対策 3. 医療廃棄物	1. 標準予防策の概念を説明できる。 2. 歯科診療で注意が必要な病原体を列挙できる。 3. 感染経路別予防策を説明できる。 4. 個人防護具の種類を列挙できる。 5. 個人防護具の着脱のポイントを説明できる。 6. 廃棄物の分類を説明できる。 7. 感染性廃棄物の分別を説明できる。	高山
	B 7/14-2 限				高山
24	A 7/15-2 限	感染予防 3	滅菌と消毒	1. 滅菌・消毒・洗浄の定義を説明できる。 2. 洗浄法の種類を列挙できる。 3. 消毒薬の三要素を説明できる。 4. 消毒の方法を列挙できる。 5. 滅菌法の種類を列挙できる。 6. 各種滅菌法の特徴を概説できる。	高山
	B 7/15-1 限				高山

科目名			担当教員		
歯科診療補助論Ⅱ			高山きよ江、三村杏奈、黒岩昭弘 〔授業補助〕 栗原奈菜、竹岡亜紀、中島香奈子、島田陽子		
			学年	開講学期	単位
1	後期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)		共同動作の意義を理解し、安全なチーム歯科医療の一端を担うための知識・技術・態度を習得する。また、歯科治療に多く使われる器材の特徴を学び、正しく取り扱うための知識・技術・態度を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ:『歯科診療補助論 第2版』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ:『歯科機器』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ:『歯科材料』(医歯薬出版) 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック (クインテッセンス出版)			
成績評価		定期試験			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士:高山きよ江、三村杏奈 歯科医師:黒岩昭弘			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として実務経験のある教員が、医療職として基本となる身だしなみや感染予防対策、歯科材料の知識と取り扱い方法を教え、臨床で多用される歯科材料の取り扱いと歯科医師と共同して歯科治療を行うための技術と態度を身に付けさせる。 歯科医師として病院勤務している教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話題も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持ち主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/2-3 限	共同動作 1	1. 歯科用ユニットの構造、機能 2. 共同動作の概念 3. 術者・補助者・患者のポジショニング 4. 診療時のライティング	1. 歯科用ユニット各部の名称を説明できる。 2. 歯科用ユニットの構造、機能を概説できる。 3. 共同動作の概念を説明できる。 4. 術者のポジショニングを説明できる。 5. 補助者のポジショニングを説明できる。 6. 患者のポジショニングを説明できる。 7. ライティングの角度を説明できる。	高山
	B 10/2-1 限				高山
2	A 10/8-1 限	共同動作 2	1. 実習 1) 患者誘導 2) 歯科用ユニットの操作	1. 歯科用ユニットの各部の名称を説明できる。 2. 歯科用ユニットの操作方法を説明できる。 3. 患者誘導を説明できる。 4. チェアセッティングができる。 5. エプロン掛けができる。 6. 各々の立場で課題や改善策を検討できる。	高山
	B 10/8-3 限				高山
3	A 10/9-3 限	共同動作 3	1. フォーハンドデッドデンティストリー 2. 器具の受け渡し 3. 実習 器具の受け渡し 1) ペングリップ 2) パームグリップ 3) その他	1. フォーハンドデッドデンティストリーの意義を説明できる。 2. フォーハンドの手順を概説できる。 3. フォーハンドの原則を概説できる。 4. 器具受け渡し時の注意点を説明できる。 5. 器具に適した受け渡しができる。 6. 患者の安全に配慮できる。 7. 各々の立場で課題や改善策を検討できる。	高山
	B 10/9-1 限				高山
4	A 10/15-1 限	バキューム・スリーウェイシリンジテクニック 1	1. バキュームテクニック 2. スリーウェイシリンジテクニック	1. バキュームの目的を説明できる。 2. バキュームの種類を説明できる。 3. バキュームの持ち方を説明できる。 4. バキューム操作の基本を説明できる。 5. バキュームチップ先端の向きを説明できる。 6. バキューム挿入禁忌部位を説明できる。 7. バキューム操作時の注意事項を説明できる。 8. スリーウェイシリンジの使用目的を説明できる。 9. スリーウェイシリンジの操作方法を説明できる。	三村
	B 10/15-3 限				三村

5	A 10/16-3 限	バキューム・スリー ウェイシリンジテク ニック 2	1. 滅菌バッグの取り扱い 2. シーラーの取り扱い 3. 使用済み器材の取り扱い 4. マネキン実習	1. 滅菌バッグの特徴を説明できる。 2. シーラーの操作法を説明できる。 3. パッキング方法を説明できる。 4. 使用済み器材の取り扱い方法を説明できる。 5. マネキン上でバキュームチップの挿入法を確認 できる。	三村
	B 10/16-1 限				三村
6	A 10/22-1 限	バキューム・スリー ウェイシリンジテク ニック 3	1. 清潔域・不潔域 2. 個人防護具の取り扱い 3. 実習説明	1. 清潔域・不潔域を意識できる。 2. 個人防護具の着脱手順を説明できる。 3. ユニットの清拭手順を説明できる。 4. 実習の流れを説明できる。	三村
	B 10/22-3 限				三村
7	A 10/23-3 限	バキューム・スリー ウェイシリンジテク ニック 4		1. 必要な器材を準備できる。 2. 個人防護具を適切に着脱できる。 3. 声掛けができる。 4. ライティングができる。 5. ヘッドレストの調整ができる。 6. スリーウェイシリンジの操作ができる。 7. 臼後三角で吸引できる。 8. 軟組織を適切に圧排できる。 9. 患者の安全に配慮できる。 10. 気付きをグループで共有できる。	三村
	B 10/23-1 限				三村
8	A 10/30-3 限	バキューム・スリー ウェイシリンジテク ニック 5	相互実習 1) 部位に応じたバキューム操作 2) 部位に応じたバキューム・スリー ウェイシリンジ操作 3) 全顎スプレー洗浄		三村
	B 10/30-1 限				三村
9	A 11/6-3 限	バキューム・スリー ウェイシリンジテク ニック 6			三村
	B 11/6-1 限				三村
10	A 11/12-1 限	バキューム・スリー ウェイシリンジテク ニック 7			三村
	B 11/12-3 限				三村
11	A 11/13-3 限	ラバーダム防湿 1	基礎知識	1. 目的を説明できる。 2. 利点・欠点を説明できる。 3. 器具の名称と用途を説明できる。 4. 1歯露出の手順を説明できる。 5. 無翼型クランプの装着方法を概説できる。 6. 多数歯露出(前歯部)の手順を概説できる。	高山
	B 11/13-1 限				高山
12	A 11/19-1 限	ラバーダム防湿 2	1. 1歯露出の手順 2. 実習 ① 1歯露出	1. 目測法でシートの穿孔ができる。 2. クランプの選択ができる。 3. クランプの試適ができる。 4. クランプの撤去ができる。 5. シート穿孔部へクランプを鉤着できる。 6. クランプを装着できる。 7. フレームを装着できる。 8. 歯頸部の括約ができる。 9. ラバーダム防湿を撤去できる。	高山
	B 11/19-3 限				高山
13	A 11/20-3 限	ラバーダム防湿 3	1. 2歯露出の手順 2. 実習 ② 1) 2歯露出 2) 1歯露出	1. 2歯露出の手順を説明できる。 2. 直接マーキング法で2歯露出ができる。 3. 時間を意識した1歯露出を実施できる。	高山
	B 11/20-1 限				高山
14	A 11/26-1 限	ラバーダム防湿 4 共同動作 4	1. 共同動作 2. 実習 ③ 1) フォーハンドでの1歯露出 1 2) フォーハンドでの1歯露出 2 3) 個人での1歯露出	1. フォーハンドでの1歯露出ができる。 2. フォーハンドでの1歯露出の介助ができる。 3. 個人での1歯露出の課題を明確にできる。 4. 個人での1歯露出の課題を改善できる。 5. 目標時間内に1歯露出を実施できる。 6. 相互にコミュニケーションできる。	高山
	B 11/26-3 限				高山
15	A 12/3-1 限	隔壁 1	1. 基礎知識 2. 窩洞の名称 3. Black の窩洞の分類 4. 隔壁法 5. 歯間分離法	1. Black の窩洞分類を説明できる。 2. 隔壁法の目的を説明できる。 3. 隔壁用機器の種類を説明できる。 4. 歯間分離法の目的を説明できる。 5. 歯間分離法の種類を説明できる。	高山
	B 11/27-1 限				高山
16	A 12/4-3 限	隔壁 2	実習 1 1) タッフルマイヤー型 リテーナーの取り扱い 2) リテーナーへの マトリックスバンドの装着 3) 模型への装着	1. タッフルマイヤー型リテーナーの各部の名称を 説明できる。 2. マトリックスバンドをリテーナーに装着できる。 3. マネキン上で下顎右側第一大臼歯にマトリック スバンドを装着できる。	高山
	B 12/3-3 限				高山

17	A 12/10-1 限	歯科材料の 基礎知識(復習)	1. 前期の復習 2. 合着材・接着材の種類 3. 成形修復材の種類	1. 歯科で用いられている主な金属材料とその用途を説明できる。 2. 歯科で用いられている主な無機材料とその用途を説明できる。 3. 歯科で用いられている主な有機材料とその用途を説明できる。 4. 歯科材料の物理的性質を比較できる。 5. 合着材・接着材・成形修復材の種類を列挙できる。 6. 問いかけに反応できる。	黒岩
	B 12/10-3 限				黒岩
18	A 12/11-3 限	歯科材料	1. 合着材・接着材の組成・用途 2. コンポジットレジンの組成・用途	1. 合着材・接着材の組成を説明できる。 2. 合着材・接着材の用途を説明できる。 3. 合着材・接着材各々の特徴を説明できる。 4. コンポジットレジンの組成を説明できる。 5. コンポジットレジンの特徴を説明できる。 6. 接着システムの必要性を説明できる。 7. 問いかけに反応できる。	黒岩
	B 12/11-1 限				黒岩
19	A 12/17-1 限	隔壁 3	実習 2 1)フォーハンド 2)個人	1. フォーハンドでの隔壁法ができる。 2. フォーハンドでの隔壁法を介助できる。 3. マネキン上で上下左右第一大臼歯にマトリック スバンドを装着できる。 4. 相互にコミュニケーションできる。 5. 目標時間内に隔壁を実施できる。	高山
	B 12/17-3 限				高山
20	A 1/7-1 限	歯肉圧排	1. 基礎知識 2. 歯肉圧排用薬剤の種類 3. 歯肉圧排の手順 4. その他の歯肉圧排用材料 5. 実習 機械的歯肉圧排法	1. 歯肉圧排の目的を説明できる。 2. 歯肉圧排法の種類を説明できる。 3. 使用器材を列挙できる。 4. 使用薬剤を列挙できる。 5. 操作上の注意点を説明できる。 6. 模型上で機械的歯肉圧排を実施できる。	高山
	B 1/7-3 限				高山
21	B 12/10-2 限	歯冠修復用レジン 1	1. 基礎知識 2. 歯冠修復材の種類、分類、用途 3. 歯冠修復材の所要性質 4. 成形修復材の種類 5. MMA レジン	1. 用語の整理ができる。 2. 歯冠修復用レジンの種類と分類、用途を説明 できる。 3. 歯冠修復材の所要性質を説明できる。 4. MMA レジンの組成、用途、取り扱い、特徴を説 明できる。 5. 成形修復とは何かを説明できる。	高山
	A 12/11-3 限	歯肉圧排			高山
22	B 12/11-1 限	歯冠修復用レジン 2	コンポジットレジン 1. 取り扱い 2. 接着システム	1. コンポジットレジンの組成、用途、特徴、分類を 説明できる。 2. 化学重合型と光重合型の相違点を説明できる。 3. コンポジットレジンの取り扱いを説明できる。 4. エッチングによる効果を説明できる。 5. 機能性モノマーを列挙できる。 6. 接着システムを説明できる。	高山
	B 1/21-3 限				高山
23	A 1/28-1 限	歯冠修復用レジン 3	1. コンポジットレジン修復 1)化学重合型 2)光重合型 3)両者の相違点 4)光重合照射器の種類 2. 実習 1)化学重合型の練和 2)CRシリンジの取り扱い	1. コンポジットレジン修復の器材を列挙できる。 2. 光重合型と化学重合型の手順の相違点を説明 できる。 3. 光重合照射器の種類と特徴を説明できる。 4. 化学重合型コンポジットレジン の練和ができる。 5. CRシリンジの取り扱い方法を説明できる。	高山
	B 1/28-3 限				高山
24	A 2/4-1 限	歯冠修復用レジン 4	光重合型コンポジットレジン修復 実習 フォーハンドでの光重合型 コンポジットレジン の充填実習	1. コンポジットレジン修復の手順を説明できる。 2. フォーハンドでの光重合型コンポジットレジン充 填を実施できる。 3. フォーハンドでの光重合型コンポジットレジン充 填が介助できる。 4. 相互にコミュニケーションできる。	高山
	B 2/4-3 限				高山

科目名			担当教員		
歯科英語			高谷達夫		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科衛生士としての処置や指導の際に必要な、基礎的な英語力を養う。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学シリーズ『歯科英語』(医歯薬出版株式会社)			
成績評価		定期試験の得点、出席、授業への参加状況を総合して評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 高谷達夫			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、臨床業務における英語活用状況を踏まえて講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/16-2 限	ガイダンス	医療現場での英語 授業の目的・内容・進め方・評価について説明	英語の学習方法を理解する	高谷
	B 4/16-1 限				高谷
2	A 4/23-2 限	医療英語の基礎1	人体、口腔の部位の名称	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 4/23-1 限				高谷
3	A 5/7-2 限	歯科臨床の英会話①	Making an Appointment by Telephone	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 5/7-1 限				高谷
4	A 5/14-2 限	歯科臨床の英会話②	Requests for Medicine	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 5/14-1 限				高谷
5	A 5/21-2 限	歯科臨床の英会話③	National Health Insurance	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 5/21-1 限				高谷
6	A 5/28-2 限	歯科臨床の英会話④	Emergency Appointments	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 5/28-1 限				高谷
7	A 6/4-2 限	歯科臨床の英会話⑤	National Health Insurance	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 6/4-1 限				高谷
8	A 6/11-2 限	歯科英語トピック	ディズニーと歯科英語	ディズニーを通して、歯科に関連した英語を学ぶ。	高谷
	B 6/11-1 限				高谷
9	A 6/18-2 限	歯科臨床の英会話⑥	Asking the Patient to Describe Symptoms	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 6/18-1 限				高谷
10	A 6/25-2 限	歯科臨床の英会話⑦	Periodontal Disease①	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 6/25-1 限				高谷
11	A 7/2-2 限	歯科臨床の英会話⑧	Periodontal Disease②	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 7/2-1 限				高谷
12	A 7/9-2 限	歯科臨床の英会話⑨	Pregnancy	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 7/9-1 限				高谷
13	A 7/16-2 限	歯科臨床の英会話⑩	Tooth Brushing Instructions for a Child	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 7/16-1 限				高谷
14	A 8/20-2 限	歯科臨床の英会話⑪	Tooth Brushing Instructions for an Adult	医療現場に応じた会話を身に付ける Vocabularyを増やし、英語活用の例文を理解できる。	高谷
	B 8/20-1 限				高谷
15	A 8/27-2 限	まとめと復習	English Conversation for Dental Hygienists 全体の Review	重要表現、語句を復習し活用できるようにする	高谷
	B 8/27-1 限				高谷